

主なプログラム

大会長講演

2月6日(金) 8:50～9:20 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

座長：加賀谷 斉（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 副院長）

地域のなかの回復期地域のための回復期

角田 賢（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院 病院長）

基調講演

2月6日(金) 9:25～10:15 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

座長：角田 賢（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院 病院長）

回復期リハビリテーション病棟の現在地と未来 ー成り立ちから課題、そして次のステージへー

菅原 英和（医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院 病院長）

特別講演1

2月6日(金) 10:25～11:15 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

座長：菅原 英和（医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院 病院長）

「地域」における回復期リハビリテーション病棟の果たすべき役割とは

斉藤 正身（一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協会 会長／
医療法人真正会 霞ヶ関南病院 理事長）

特別講演2

2月6日(金) 11:25～12:15 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

座長：三橋 尚志（医療法人社団行陵会 京都近衛リハビリテーション病院 病院長）

これからのJRATの進化・深化 ～回復期リハが災害支援に果たす役割考～

栗原 正紀（一般社団法人 日本災害リハビリテーション支援協会 代表理事／
一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院 理事長）

特別講演3

2月6日(金) 13:35～14:25 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

座長：廣江 晃（社会福祉法人こうほうえん 理事長）

高市政権の医療政策と2026年度診療報酬改定

二木 立（日本福祉大学 名誉教授）

特別講演4

2月7日(土) 11:00～11:50 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

座長：廣江 晃 (社会福祉法人こうほうえん 理事長)

ともに生きる社会へ ～人口最少県の挑戦～

平井 伸治 (鳥取県知事)

特別講演5

2月7日(土) 13:10～14:00 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

座長：廣江 研 (社会福祉法人こうほうえん 会長)

2040年に向けた医療政策 –回復期リハビリテーションへの期待–

伊原 和人 (厚生労働事務次官)

教育講演1

2月6日(金) 10:25～11:15 第2会場(米子市文化ホール 1F メインホール)

座長：渡邊 進 (社会医療法人寿量会 熊本機能病院 副院長)

医療・回復期ケア現場における身体拘束・虐待の是非を考える

田中とも江 (社会福祉法人こうほうえん ケアホーム西大井こうほうえん 施設長)

教育講演2

2月6日(金) 10:25～11:15 第4会場(米子市文化ホール 1F イベントホール)

座長：岡本 隆嗣 (医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション病院 病院長)

ライフステージに沿った高次脳機能障害の支援の実践

橋本 圭司 (社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院 副病院長)

教育講演3

2月6日(金) 11:25～12:15 第2会場(米子市文化ホール 1F メインホール)

座長：岩田 久義 (社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院
リハビリテーション技術部 言語聴覚士係長)

失語をみるポイントとピットフォール

大槻 美佳 (北海道大学大学院保健科学研究院 准教授)

教育講演4

2月6日(金) 11:25～12:15 第4会場(米子市文化ホール 1F イベントホール)

座長：後藤 伸介 (特定医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター
リハビリテーション技術部 部長)

地域のためのリハビリテーション学

樋口 由美 (大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科 教授)

教育講演5

2月6日(金) 13:35～14:25 第2会場(米子市文化ホール 1F メインホール)

座長：鵜飼 泰光（医療法人珪山会 鵜飼リハビリテーション病院 理事長）

回復期リハビリテーション医療のスタンダード（標準）について考える ー脳卒中を中心にー

近藤 国嗣（東京湾岸リハビリテーション病院 病院長）

教育講演6

2月6日(金) 13:35～14:25 第3会場(米子コンベンションセンター 2F 小ホール)

座長：藤井由記代（社会医療法人大道会 森之宮病院 診療部医療社会事業課 副部長）

効果的なチームカンファレンスの運営とファシリテーション

片岡 靖子（久留米大学 文学部 社会福祉学科 教授）

教育講演7

2月6日(金) 14:35～15:25 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

座長：花山 耕三（川崎医科大学総合医療センター 特任教授）

回復期リハビリテーションにおける骨粗鬆症治療の重要性 ～新ガイドラインの内容から～

萩野 浩（独立行政法人労働者健康安全機構 山陰労災病院 院長）

教育講演8

2月6日(金) 14:35～15:25 第2会場(米子市文化ホール 1F メインホール)

座長：牛込 伸行（医療法人社団輝生会 成城リハビリテーション病院 副院長）

「Universal MaaS ～誰もが移動をあきらめない世界へ～」プロジェクトの最新動向

大澤 信陽（全日本空輸株式会社(ANA) 経営戦略室 MaaS 推進チーム
Universal MaaS プロジェクト兼 ANAHD 未来創造室 モビリティ事業創造部
MaaS 事業チーム マネジャ）

教育講演9

2月6日(金) 16:25～17:15 第3会場(米子コンベンションセンター 2F 小ホール)

座長：井後 雅之（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院 名誉院長）

脳卒中患者の内観とリハビリテーションの効果 ー脳出血の経験から分かった医療者の役割ー

宮口 英樹（高知健康科学大学 学長）

教育講演10

2月7日(土) 9:00～9:50 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

座長：佐藤 義朝（公益財団法人いわてリハビリテーションセンター センター長）

データサイエンスはコロナとどう向き合ったか ー Covid-19 AIシミュレーションプロジェクトー

神成 淳司（慶應義塾大学 環境情報学部 教授／
内閣官房 イノベーション戦略調整官、健康医療戦略室 次長）

教育講演 11

2月7日(土) 9:00～9:50 第2会場(米子市文化ホール 1F メインホール)

座長：宮井 一郎(社会医療法人大道会 森之宮病院 病院長)

回復期リハビリ病棟のDX化戦略：クラウドネイティブ時代の現場変革と新しい医療の創造

高橋 泰(国際医療福祉大学 大学院教授)

教育講演 12

2月7日(土) 9:00～9:50 第3会場(米子コンベンションセンター 2F 小ホール)

座長：橋本 茂樹(札幌湊仁会リハビリテーション病院 病院長)

「呼吸を意識する」回復期リハビリテーションへ：呼吸リハとの連携の重要性

松本 久子(近畿大学 呼吸器・アレルギー内科学教室)

教育講演 13

2月7日(土) 10:00～10:50 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

座長：一宮 禎美(NTT 東日本伊豆病院 看護部長)

優しさを伝えるケア技術：ユマニチュード

本田美和子(独立行政法人国立病院機構 東京医療センター／総合内科医長／
医療経営情報・高齢者ケア研究室長／日本ユマニチュード学会 代表理事)
Yves Gineste(ジネスト・マレスコッティ研究所 所長)

教育講演 14

2月7日(土) 14:10～15:00 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

座長：西村 一志(特定医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター 顧問)

回復期リハビリテーションにおける国際生活機能分類(ICF)の活用とチームアプローチ

岡本 隆嗣(西広島リハビリテーション病院 理事長・病院長)

シンポジウム 1

2月6日(金) 15:35～17:15 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

米子市における3年間のフレイル予防活動

座長：廣江 晃(社会福祉法人こうほうえん 理事長)

SY1-1 米子市フレイル予防推進協議会について

増田 紳哉(米子市フレイル予防推進協議会 事務局長)

SY1-2 巡回健診によるフレイル予防 ～コホート構築への取り組み～

森田 明美(鳥取大学医学部 医学科 社会医学講座 健康政策医学分野 教授)

SY1-3 フレイルをスマイルへ ～米子市のフレイル予防の取組～

頼田 真哉(米子市福祉保健部 フレイル対策推進課 課長)

回復期リハビリテーション病棟と地域を繋ぐ自立訓練(機能訓練)事業とは(役割と現状)

座長：小島 正平(全国障害者自立訓練事業所協議会 副会長／
かがわ総合リハビリテーションセンター 地域生活支援部長)

SY2-1 「してもらいハビリ」から「自分でするリハビリ」へ導くためのエッセンス ～医学的リハビリから社会的リハビリへのシームレスな連携を行うために～

山本 直樹(兵庫県社会福祉事業団総合リハビリテーションセンター 自立生活訓練部)

SY2-2 千葉リハビリテーションセンター更生園における自立訓練事業の取り組み

篠原 正倫(全国障害者自立訓練事業所協議会 事務局／
千葉県千葉リハビリテーションセンター 更生園支援部長)

SY2-3 回復期リハビリテーション病棟と地域を繋ぐ自立訓練(機能訓練)事業とは(役割と現状)

菊地 尚久(全国障害者自立訓練事業所協議会 会長／
千葉県千葉リハビリテーションセンター センター長)

委員会企画1【栄養委員会企画】

2月6日(金) 10:25～12:05 第3会場(米子コンベンションセンター 2F 小ホール)

地域でその人らしく暮らすための栄養支援：回復期の役割

座長：新谷 恵子(医療法人社団輝生会法人本部 栄養部 統括部長)

CP1-1 通所系サービスの一体的取り組みにおける管理栄養士の関わり

漆原 真姫(特定医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター)

CP1-2 退院後のフォローアップ ～当院での取り組み～

影山 典子(西広島リハビリテーション病院 栄養課)

CP1-3 生活を支える回復期リハビリテーション病棟からの在宅訪問栄養食事指導

西岡 心大(長崎県立大学大学院地域創生研究科／看護栄養学部栄養健康学科 教授)

CP1-4 被災地でその人らしく暮らすための栄養支援ー令和6年能登半島地震での経験から

小蔵 要司(社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 臨床栄養課 係長)

委員会企画2【ソーシャルワーカー委員会企画】

2月6日(金) 14:35～16:15 第3会場(米子コンベンションセンター 2F 小ホール)

身寄りのない方への支援

座長：山下浩一郎（医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション病院 医療相談室 副主任）

CP2-1 保証人問題と回復期リハビリテーション病棟ソーシャルワーカーの役割

林 祐介（日本福祉大学 社会福祉学部 准教授）

CP2-2 身寄りのない患者の支援について ～当院における実践報告～

大塚めぐみ（鳥取大学医学部附属病院 医療福祉支援センター 医療ソーシャルワーカー）

CP2-3 身寄りのない高齢患者に対する他職種連携支援の実践と課題

里見 英俊（医療法人養和会 養和病院 回復期リハビリテーション病棟
医療ソーシャルワーカー）

CP2-4 委員会提言

牛島 寛文（医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院 介護老人保健施設 伸寿苑
老健連携・相談支援課長）

委員会企画3【看護介護委員会企画】

2月6日(金) 15:35～17:15 第2会場(米子市文化ホール 1F メインホール)

回復期リハ看護介護の原点

～患者さんの尊厳を守り、あたりまえの生活をあたりまえに支援する～

座長：一宮 禎美（NTT 東日本伊豆病院 看護部長）

CP3-1 その人らしく食べることの支援を改めて考える

市川 真（NTT 東日本伊豆病院 副看護部長）

CP3-2 排泄ケアと尊厳 ～その人らしさを守るケアとは～

磯部香奈子（医療法人輝生会 船橋リハビリテーション病院 マネジャー）

CP3-3 地域に繋ぐために何をするのか

永見 茜（医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション病院 看護師）

委員会企画4【医療安全委員会企画】

2月7日(土) 9:00～9:50 第4会場(米子市文化ホール 1F イベントホール)

身体的拘束廃止のためのチームの取り組み

座長：石原 健（医療法人社団輝生会 船橋市立リハビリテーション病院 院長）
後藤 悠人（東京湾岸リハビリテーション病院 理学療法科 主任）

CP4-1 多職種チームアプローチによる最小化を目指して

坂野ゆかり（医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション 看護介護部 部長）

CP4-2 身体的拘束廃止のためのチームの取り組みと課題

堀 一世（医療法人財団尚温会 伊予病院 看護師長）

委員会企画5【保険・調査委員会企画】

2月7日(土) 10:00～11:40 第2会場(米子市文化ホール 1F メインホール)

座長：渡邊 進(社会医療法人寿量会 熊本機能病院 副院長)

CP5-1 2025年度回復期リハビリテーション病棟実態調査の概要

寛 淳夫(工学院大学建築学部 教授)

CP5-2 2025年度回復期リハビリテーション病棟実態調査の活用

宮井 一郎(社会医療法人大道会 副理事長／森之宮病院 院長)

委員会企画6【研修委員会企画】

2月7日(土) 10:00～11:40 第3会場(米子コンベンションセンター 2F 小ホール)

回復期リハビリテーション病棟における退院前カンファレンスのリアル ～実践者が語る大切さと継続工夫～

座長：角田 賢(社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院 病院長)

中島 龍星(一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院 教育研修部部長)

指定発言：角田 賢(社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院 病院長)

シンポジスト：乙黒 竜一(医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院 フロアマネジャー)

湯本 英恵(NTT東日本伊豆病院 病棟主任)

山崎 智子(一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院 SWリーダー)

委員会企画7【総務委員会企画】

2月7日(土) 10:00～11:40 第4会場(米子市文化ホール 1F イベントホール)

各都道府県における回復期リハビリテーション病棟の質・体制向上に向けた活動や取り組みの紹介

座長：伊藤 克浩(社会医療法人加納岩 山梨リハビリテーション病院 技術指導統括)

CP7-1 各都道府県における回復期リハビリテーション病棟の質・体制向上に向けた活動や取り組みの紹介 ―千葉県―

菊池 尚久(千葉県千葉リハビリテーションセンター)

CP7-2 高知県回復期リハビリテーション病棟連絡会の軌跡と進化 ―多職種協業から地域連携、そして人口減少社会への戦略的変革へ―

高芝 潤(社会医療法人近森会 リハビリテーション部 統括部長)

CP7-3 岡山県回復期リハビリテーション病棟協会の取り組み

高尾聡一郎(社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 理事長／

岡山県回復期リハビリテーション病棟協会 会長)

CP7-4 北海道回復期リハビリテーション病棟協会の取り組みと今後の課題

久保 進也(北海道回復期リハビリテーション病棟協会／

医療法人溪仁会 札幌溪仁会リハビリテーション病院 リハビリテーション部 副部長)

CP7-5 沖縄回復期リハビリテーション病棟協会の活動

和宇慶亮士(医療法人タビック 沖縄リハビリテーションセンター病院 教育研修局 マネージャー)

委員会企画8【PTOTST委員会企画】

2月7日(土) 13:10～14:50 第2会場(米子市文化ホール 1F メインホール)

回復期でもできる、療法士の地域活動

座長：山中誠一郎（医療法人社団輝生会 本部 部長）

奥山 タ子（藤田医科大学七栗記念病院 リハビリテーション部 副療法士長）

CP8-1 回復期の療法士に、なぜ地域活動が必要なのか

坂田 祥子（PTOTST 委員／医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院
リハビリテーション部 副部長）

CP8-2 地域支援事業を活用した段階的人材育成の取り組み

馬崎 昇司（かすみケアグループ本部 副本部長／
医療法人真正会 霞ヶ関南病院 リハビリテーション部 部長）

CP8-3 岩手県リハビリテーション支援センターの立場から

佐藤 英雄（公益財団法人 いわてリハビリテーションセンター 機能回復療法部長）

ランチョンセミナー1

2月6日(金) 12:30～13:20 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

座長：木村 浩彰（医療法人社団生和会 理事長）

脳卒中上肢麻痺に対する手指用リハビリテーションロボットを用いた治療戦略

松元 秀次（茨城県立医療大学 保健医療学部 医科学センター 教授）

共催：FrontoAct 株式会社

ランチョンセミナー2 2月6日(金) 12:30～13:20 第2会場(米子市文化ホール 1F メインホール)

座長：竹内 茂伸（錦海リハビリテーション病院 副院長）

回復期のGLIM基準と栄養管理：基礎・応用・限界の徹底理解

西岡 心大（長崎県立大学 看護栄養学部 栄養健康学科 教授）

共催：ニュートリー株式会社

ランチョンセミナー3

2月6日(金) 12:30～13:20 第3会場(米子コンベンションセンター 2F 小ホール)

「サイバー攻撃対策に終止符を！」名寄市立総合病院・ANAの事例ご紹介

座長：廣江 研（社会福祉法人こうほうえん 会長）

サイバー攻撃対策について地方公立病院情報システム責任者として考えたこと

守屋 潔（元 名寄市立総合病院 情報センター長）

航空会社と病院でのセキュリティ対策の共通点と対策のヒント

和田 昭弘（全日本空輸株式会社 デジタル変革室 専門部長）

共催：株式会社 IT ガード

ランチョンセミナー4 2月6日(金) 12:30～13:20 第4会場(米子市文化ホール 1F イベントホール)

座長：児玉 万実（医療法人社団行陵会 御所南リハビリテーションクリニック
リハビリテーション科 院長）

回復期における新・痙縮治療戦略

竹林 成典（東海旅客鉄道株式会社 名古屋セントラル病院 脳神経外科 主任医長）

共催：第一三共株式会社

ランチョンセミナー5

2月6日(金) 12:30～13:20 第5会場(米子コンベンションセンター 1F 情報プラザ)

座長：坂藤美智子（株式会社ベネッセスタイルケア サービス推進本部 サービス推進部・言語聴覚士）

ベネッセスタイルケアの“食べるは、ちから。”を支える現場から ～安全・栄養・楽しさを支える食事と多職種連携の実践報告～

坂藤美智子（株式会社ベネッセスタイルケア サービス推進本部 サービス推進部・言語聴覚士）

永緑 剛（株式会社ベネッセスタイルケアグループ 執行役員／
株式会社ベネッセスタイルケア 取締役専務執行役員／
株式会社ベネッセパレット 代表取締役社長）

福田 亮子（株式会社ベネッセスタイルケア ベネッセ シニア・介護研究所 主任研究員）

共催：株式会社ベネッセパレット

ランチョンセミナー6

2月6日(金) 12:30～13:20 第6会場(米子コンベンションセンター 6F 第7会議室)

座長：花山 耕三（川崎医科大学 リハビリテーション医学教室 特任教授）

身体運動と発声認知課題を統合したデュアルタスク訓練による身体・認知機能の相乗的 改善アプローチ ～OG技研との共同開発機器を用いた新たなリハビリテーション戦略～

安保 雅博（東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座 主任教授）

共催：オージー技研株式会社

ランチョンセミナー7

2月7日(土) 12:05～12:55 第1会場(米子コンベンションセンター 1F 多目的ホール)

頭部外傷における再生医療×リハビリテーション

座長：岡本 隆嗣（西広島リハビリテーション病院 病院長）

世界初の脳再生治療薬アクーゴの真価：その作用機序とエビデンス構築の歩み

金 恭平（岡山大学病院 脳神経外科 研究准教授・助教）

慢性期外傷性脳損傷の再生医療に関わってーリハビリテーション評価を通して感じたことー

堅山 佳美（岡山大学病院 総合リハビリテーション部 助教）

共催：サンバイオ株式会社

ランチョンセミナー8 2月7日(土) 12:05～12:55 第2会場(米子市文化ホール 1F メインホール)

座長：岩田 勘司（鳥取医療生活協同組合鳥取生協病院 リハビリテーション科 診療部長）

回復期リハビリテーション病棟におけるボツリヌス療法の挑戦 「高価」から「効果」へのパラダイムシフト

入江 暢幸（医療法人博仁会 福岡リハビリテーション病院 病院長）

共催：帝人ヘルスケア株式会社

ランチョンセミナー9

2月7日(土) 12:05～12:55 第3会場(米子コンベンションセンター 2F 小ホール)

座長：竹内 茂伸（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

呼吸筋トレーニングによる嚥下改善アプローチ

福岡 達之（広島国際大学 総合リハビリテーション学部）

児嶋 吉功（社会福祉法人こうほうえん 介護老人福祉施設 さかい幸朋苑）

共催：株式会社秋山製作所

ランチョンセミナー10

2月7日(土) 12:05～12:55 第4会場(米子市文化ホール 1F イベントホール)

医療介護DXの成功事例および、その推進に向けた阻害要因と対策

伊藤 宏光（株式会社ワイズマン マーケティング本部

ケアコミュニティ・デザイン・スペシャリスト(地域連携専門部長)）

共催：株式会社ワイズマン

ランチョンセミナー11

2月7日(土) 12:05～12:55 第5会場(米子コンベンションセンター 1F 情報プラザ)

「眠り」が支える認知機能－高次脳機能障害と神経心理ピラミッドの関係－

坂元 尚美（パラマウントベッド株式会社 睡眠研究所 係長）

小林 雄一（JA 尾道総合病院 看護科 師長／脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師）

共催：パラマウントベッド株式会社

一般演題プログラム

口述演題

第1日目 2月6日(金)

プログラム 一般演題(口述演題) 第1日目

口述演題1

2月6日(金) 13:35～14:25 第4会場(米子市文化ホール 1F イベントホール)

退院支援・家族支援・地域連携1

座長：村越 夏未(東京湾岸リハビリテーション病院)

O1-1 訪問リハビリを利用し趣味活動再開を目指した一症例

金崎 一晃(社会福祉法人柏芳会 田川新生病院)

O1-2 回復期リハビリテーション病棟におけるADLに対する多職種支援の取り組み 入浴に着目して

寺嶋 陽平(医療法人珪山会 鶴飼リハビリテーション病院 リハビリテーション部)

O1-3 患者希望を尊重した転倒リスクを有する患者への自立歩行支援 ～FBSを活用した症例～

田中 菜々(一般社団法人巨樹の会 新武雄病院 リハビリテーション科)

O1-4 気管切開・PEG造設後の重症延髄梗塞患者が多職種連携により在宅復帰した一例

佐藤 実穂(医療法人敬愛会 リハビリテーション天草病院)

O1-5 夫の参加を通して自宅退院が実現した気管切開患者の支援 ～家族とともに進める退院支援のプロセス～

中村真理子(社会医療法人昌林会 安来第一病院 回復期リハビリテーション病棟)

O1-6 嚥下調整食で自宅退院を目指す患者の退院支援 ～ペースト食で昼間独居を目指した症例の家族指導を通して～

深田 菜月(医療法人白山会 白山リハビリテーション病院 療法部)

O1-7 精神科病院が母体の回復期リハビリテーション病棟における自殺企図症例の受け入れ後の実態と支援上の課題

日野 健(研精会 稲城台病院)

口述演題2

2月6日(金) 14:35～15:25 第4会場(米子市文化ホール 1F イベントホール)

退院支援・家族支援・地域連携2

座長：立丸 允啓(小倉リハビリテーション病院)

O2-1 病棟と協働し自宅環境に合わせた介入や家族指導を行い、自宅退院に至った重度介助を要す症例を経験して

工藤 唯加(社会医療法人愛生会 上飯田リハビリテーション病院 リハビリテーション科)

O2-2 地域高齢者等の生活機能の包括的評価表の開発

森田 秋子(鶴飼リハビリテーション病院)

O2-3 当初施設入所と想定された脳卒中両片麻痺患者が自宅退院を実現した一例 -在宅継続困難から得られた示唆-

中野 志穂(IMS<イムス>グループ イムス板橋リハビリテーション病院
リハビリテーション科)

O2-4 中等度失語症をもつ患者へ、脳卒中再発予防指導を試みて

福田由美子（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院 看護部）

O2-5 回復期リハビリテーション病棟における後期高齢者の在宅復帰に影響を与える要因の検討－看護必要度・SIDEに焦点を当てて－

西崎 洋二（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 看護部
回復期リハビリテーション科）

O2-6 脳梗塞発症後に頸髄症を発症し、精神的落ち込みが強い症例に対し、細かな目標設定と本人との共有方法の工夫が意欲向上に繋がった一例

川村 彩香（医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院 リハビリテーション部 理学療法科）

O2-7 82%が知らなかった痙縮治療、80%が理解！回復期は痙縮治療への“最高の教え時”～7年565名の実践が証明した新たな回復期の役割～

鳥飼有希子（医療法人堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院）

口述演題3

2月6日(金) 15:35～16:25 第4会場(米子市文化ホール 1F イベントホール)

退院支援・家族支援・地域連携3

座長：宮村 紘平（河北リハビリテーション病院）

O3-1 透析後に脳梗塞を発症し失語症を呈した症例における言語聴覚士の役割と家族支援の意義

鈴木 実雨（医療法人社団永生会 新八千代病院 リハビリテーション科）

O3-2 健康問題を抱えた患者の家族を対象とする援助～家族が主体的にセルフケア機能を高めるアプローチ～

井上 深優（社会医療法人加納岩 山梨リハビリテーション病院 看護部）

O3-3 脳卒中後に複数の高次脳機能障害と抑うつ症状を呈した患者の希望の再獲得を支えた退院後の生活環境――症例報告――

高木 文彦（社会医療法人財団仁医会 牧田リハビリテーション病院）

O3-4 外国籍の重症脳血管疾患患者の帰国支援

宮川 怜（医療法人桜十字 桜十字病院 リハビリテーション部）

O3-5 広域的な医療・介護連携により自宅退院を目指した脳卒中後重度右片麻痺、運動性失語症例－地域間医療資源格差を背景として－

松井 政幸（一般財団法人新田塚医療福祉センター 福井総合病院 診療支援部
リハビリテーション課 作業療法室）

O3-6 社会参加の場としての院内デイの活用～地域へ橋渡しの支援～

塚田えりか（IMS グループ イムス札幌リハビリテーション病院）

O3-7 脳卒中再発予防パンフレットを使用した継続的な指導の実際～急性期病院から維持期まで

坂根嘉奈子（錦海リハビリテーション病院）

□述演題 4

2月6日(金) 16:35～17:25 第4会場(米子市文化ホール 1F イベントホール)

退院支援・家族支援・地域連携 4

座長：烏谷 香蓮（おおぞら病院）

- O4-1 自宅退院後のFIMおよび介助不安感に変化する要因：電話調査の結果から**
田中 樹生（社会医療法人三俊会 宮崎病院 回復期リハビリテーション科）
- O4-2 退院後訪問指導を活用したシームレスな退院支援体制の構築に向けて**
野村利早子（医療法人幸生会 琵琶湖中央リハビリテーション病院 4A 病棟）
- O4-3 当院における地域貢献活動へのリハビリテーション専門職の関わり ～測定結果から見た傾向と今後の課題～**
岩立 健司（医療法人社団創造会 平和台病院 リハビリテーションセンター）
- O4-4 退院前後訪問を通して継続的な支援の必要性を検討した一症例**
山田 実奈（藤田医科大学病院 看護部）
- O4-5 退院支援看護師による在宅療養移行支援の取り組み**
山崎 優子（医療法人溪仁会 札幌溪仁会リハビリテーション病院 患者サポートセンター 入退院支援室）
- O4-6 回復期リハビリテーション病棟における訪問セラピストとの連携による退院支援体制の構築**
清原圭一郎（社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 リハビリテーション技術室）
- O4-7 生活の再構築に向かう意識変容の探索 – 質的統合法 (KJ法) を用いた2事例の質的分析–**
境 源一郎（福岡リハビリテーション病院）

□述演題 5

2月6日(金) 10:25～11:25 第5会場(米子コンベンションセンター 1F 情報プラザ)

退院支援・家族支援・地域連携 5

座長：野口 陽介（医療法人社団輝生会 本部）

- O5-1 退院支援に苦慮した若年性脳卒中患者の症例 ～障害福祉サービス利用を通して見えてきた課題～**
佐々尾博子（医療法人公仁会 姫路中央病院 回復期リハビリテーション病棟）
- O5-2 脳血管疾患患者様への再発予防指導の必要性について ～CBA良好・軽度の患者様に対する本人様への指導率向上を目指して～**
清水 百香（医療法人桂山会 鶴飼リハビリテーション病院 3階病棟）
- O5-3 音声アプリによる注意喚起で屋外歩行の安全性を高めた左半側空間無視の一例**
森部 雄太（社会福祉法人拍芳会 田川新生病院 訪問リハビリテーション部）
- O5-4 家族支援を中心とした多職種連携により在宅復帰を実現した脳卒中症例**
高橋 遥那（医療法人社団輝生会 成城リハビリテーション病院）

05-5 演題取り下げ

05-6 生活環境の変化と法人内連携により老健入所後にADL自立に至った症例

松本絵里奈（医療法人協和会 第二協立病院 リハビリテーション科）

05-7 退院後の生活支援に向けた入院時訪問の実態と課題の分析 ―回復期リハビリテーション病棟における多職種アンケート調査より―

岸本 晃嘉（社会医療法人生長会 ベルピアノ病院）

口述演題 6

2月6日(金) 11:25～12:15 第5会場(米子コンベンションセンター 1F 情報プラザ)

退院支援・家族支援・地域連携6

座長：平 健蔵（安芸太田病院）

06-1 脳卒中患者の再発予防に向けた取り組み ～1日でも長く住み慣れた家で過ごすために～

新倉 香帆（明芳会 イムス横浜狩場脳神経外科病院）

06-2 回復期における失語症交流会の活用 ―退院支援とST教育の視点から―

河本 友紀（医療法人桂山会 鶴飼リハビリテーション病院）

06-3 回復期リハビリテーション病棟自宅退院患者の環境調整の有効性と課題

藤田 暢一（社会医療法人大道会 森之宮病院 リハビリテーション部 理学療法科）

06-4 回復期リハビリテーション病棟における身寄りのない患者支援の実態と多職種連携の課題―社会的孤立と経済的困窮に着目して

小山 朝生（公益財団法人健和会 戸畑けんわ病院 地域医療連携室 医療相談科）

06-5 難聴と認知機能に対する取り組み ～回復期リハビリテーション病院での実践と課題～

北原 佑輔（社会医療法人財団白十字会 白十字リハビリテーション病院
リハビリテーション部 言語聴覚療法課）

06-6 FLSを地域や生活期で連携・継続するために重要な情報提供について

川島 淳（医療法人財団公仁会 鹿島病院）

06-7 退院後ADLの実態とスタッフ間の認識の違いについて

佐西 優（社会医療法人同愛会 博愛病院 リハビリテーション部）

口述演題 7

2月6日(金) 13:35～14:25 第5会場(米子コンベンションセンター 1F 情報プラザ)

ADL・IADL1

座長：下村 彰宏（初台リハビリテーション病院）

07-1 回復期リハビリテーション病棟へのFIM利得0点患者の入院の必要性に関する検討 ～退院後の自宅での生活の質にかかる指標を用いた分析～

児玉 悦志（公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 リハビリテーション部）

07-2 マスク着脱に限局して他人の手徴候を呈した回復期右頭頂側頭葉梗塞患者の症例報告

齋藤 隆人（大原記念財団 大原医療センター）

- O7-3** 体幹機能低下によりADL制限を認めた症例への早期シーティングと補助具活用による生活動作再獲得の一例
東窪真之祐（川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター）
- O7-4** 後期高齢脳卒中患者のADL改善度と配偶者以外の同居は自宅復帰に影響を与える
坂本 和弥（医療法人恕泉会 リハビリテーション病院すこやかな杜 リハビリテーション科）
- O7-5** 当院に入院した脳卒中患者の運動FIM最大得点到達週数の特徴及び関連因子の検討
松田 桃花（医療法人白山会 白山リハビリテーション病院 療法部）
- O7-6** 既往に糖尿病のある右脳梗塞患者に対する理学療法の一考察
和田 航佑（特定医療法人一輝会 荻原記念病院 リハビリテーション部・理学療法科）
- O7-7** 脳動脈乖離後脳梗塞による重度片麻痺症例に対する歩行自立への介入：高次脳機能障害に対する視覚フィードバックによる運動学習効果の考察
村中 希帆（京都リハビリテーション病院）

□述演題8

2月6日(金) 14:35～15:25 第5会場(米子コンベンションセンター 1F 情報プラザ)

ADL・IADL2

座長：橋本 圭司（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

- O8-1** 頭頂葉梗塞により姿勢調節障害を呈した症例が独居での在宅復帰を獲得した報告 ～腹臥位運動や床上動作を用いた介入による効果～
神園 彩佳（医療法人明和会 辻村外科病院 リハビリテーション部）
- O8-2** 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者のFIMを用いた自宅退院に必要な因子の検討
尾松紗也香（医療法人清水会 京都リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- O8-3** 入院時BMI層別化による当院回復期脳卒中患者の退院時FIMの特徴
平澤津隼人（医療法人社団苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院）
- O8-4** ユマニチュードの視点を取り入れ、積極的な理学療法の介入に繋がった一症例
佐貫 歩香（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院
リハビリテーション技術部）
- O8-5** 左半側空間無視を呈した症例にトイレ動作自立を目標としたアプローチを行い独居への退院が可能となった一例
稲垣 花音（医療法人永井病院）
- O8-6** 回復期脳卒中患者におけるセルフケア能力と上肢機能の関連 ～FMA-UEを用いた検討～
黒川 夏叶（社会医療法人畿内会 岡波総合病院 リハビリテーション科）
- O8-7** 退院後の活動・参加を見据えた関わり ～回復期リハビリテーション病棟における洗濯機導入と具体的介入～
高橋 俊貴（医療法人慈光会 甲府城南病院 リハビリテーション部）

□述演題 9

2月6日(金) 15:35～16:25 第5会場(米子コンベンションセンター 1F 情報プラザ)

ADL・IADL3

座長：菊池 希(熊本機能病院)

- O9-1** 当院回復期リハビリテーション病棟での入浴リハに向けたプロトコルの作成と取り組みー対象者の選定と入浴リハを実践するまでの経緯ー
中村 瑞紀(社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院 リハビリテーション課)
- O9-2** MTDLPを用いて、独居生活と社会交流活動の再開を支援した一事例
福田菜乃花(医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院 リハビリテーション部作業療法科)
- O9-3** 傾斜台を用いた長下肢装具での立位練習により立位時のPusher現象が改善した一症例
阿部 凌雅(医療法人社団苑田会 花はたりリハビリテーション病院 リハビリテーション科)
- O9-4** 体性感覚を用いた身体正中軸とボディイメージへのアプローチが半側空間無視の改善と介助量軽減に繋がった症例：症例報告
矢澤 大誠(医療法人平成博愛会 印西総合病院 リハビリテーション部)
- O9-5** 回復期リハビリテーション病棟における自主練習の実施の取り組み 自主練習の運用方法見直しと対象患者の増加を目指して
伊藤 圭織(医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院 リハビリテーション科)
- O9-6** FIMを使用したADLギャップについての一考察
神原 一航(協和会 千里中央病院 回復期リハビリテーション病棟)
- O9-7** 回復期リハビリテーション病棟におけるFIMおよびAMPSの利得と作業療法の介入内容に関する実態調査
松澤 良平(IMS<イムス>グループ イムス板橋リハビリテーション病院)

□述演題 10

2月6日(金) 16:35～17:25 第5会場(米子コンベンションセンター 1F 情報プラザ)

ADL・IADL4

座長：原田あゆ美(社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院)

- O10-1** 当院回復期リハビリテーション病棟に在棟していた患者の退院時歩行FIMに影響する因子の検討
前川 優衣(医療法人社団六心会 恒生病院 回復期リハビリテーション科)
- O10-2** 当院回復期リハビリテーション病棟入院患者におけるトイレ誘導開始の判断基準について
加賀屋眞美(医療法人社団健育会 石巻健育会病院 リハビリテーション部)
- O10-3** 回復期リハビリテーション病棟高齢患者における Vitality Indexの退院先関連性と予測精度
岩崎 崇(医療法人財団聖十字会 西日本病院 総合リハビリテーション部)
- O10-4** 病院移転に伴う浴室環境改善による入浴自立度の向上
松下 翔哉(社会医療法人高橋病院)

- O10-5 回復期リハビリテーションにおける認知機能 (MMSE) が機能的自立度評価 (FIM) に与える影響について**
橋本 翔太 (社会医療法人博愛会 開西病院 リハビリテーション科)
- O10-6 回復期リハビリテーション病棟入院患者における自立歩行判定に対するSPPBの有用性の検討**
齊藤 達成 (一般財団法人岸和田農友協会 岸和田平成病院 リハビリテーション科)
- O10-7 “入浴”に専門性を –セラピストの入浴評価によるADL支援とケア体制の再構築–**
安田 篤 (医療法人社団慶仁会 川崎病院 リハビリテーション科)

口述演題11 2月6日(金) 10:25～11:25 第6会場(米子コンベンションセンター 6F 第7会議室)

チームアプローチ1

座長：牛込 伸行 (成城リハビリテーション病院)

- O11-1 「ねりま健幸学園」開校 ～地域住民の疾病・介護予防と健康寿命延伸に向けた貢献活動～**
野村 征吾 (医療法人社団健育会 ねりま健育会病院)
- O11-2 超高齢者に対する離床への取り組み ～患者の持つ力を引き出すチームアプローチ～**
木場佐智子 (医療法人清水会 もりぐち清水会病院 看護部)
- O11-3 「車椅子に移るのが怖い」～痛みに対する恐怖で離床に消極的だったA氏に統一した移乗方法を実践した～**
花澤 聡子 (社会医療法人社団千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院 看護部門
回復期リハビリ病棟)
- O11-4 回復期リハビリテーション病棟における生活習慣病予防チームによる生活習慣病予防教室の必要性**
植田 明美 (公益財団法人操風会 岡山リハビリテーション病院 看護部)
- O11-5 気管切開を施行した患者に対し回復期リハビリテーションを行った一症例 –カニューレ抜管に向けての理学療法の役割に着目して–**
大下 薫 (社会医療法人若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院
リハビリテーション部 リハビリテーション課)
- O11-6 四肢切断患者への看護師の関わりとADL再獲得に向けたアプローチ ～人間として扱ってくれてありがとう～**
眞坂 友衣 (川崎医科大学附属病院 看護部)
- O11-7 重症患者の自宅退院に影響を与える因子の検討**
中野 幸恵 (京都大原記念病院グループ 地域包括連携室)

□述演題 12

2月6日(金) 11:25～12:15 第6会場(米子コンベンションセンター 6F 第7会議室)

質の評価・アウトカム評価1

座長：中島 龍星（長崎リハビリテーション病院）

- 12-1 痙縮に対する退院後のボツリヌス治療継続への課題と改善に向けた支援体制の構築：後方視分析**
成瀬 宏司（さくら総合病院 リハビリテーションセンター）
- 12-2 生成AIと活動量計データを用いた脳卒中患者の予後予測に関する症例的検討**
馬場 慶和（医療法人西福岡桜十字 桜十字大手門病院）
- 12-3 回復期リハビリテーション病棟入院患者における、定時・集団環境下での自主運動が身体活動量に与える影響**
岡野 清音（鶴巻温泉病院 リハビリテーション部）
- 12-4 回復期病棟患者における自主練習の実態と継続意向に関する調査**
石井 翔悟（医療法人社団大和会 平成扇病院 リハビリテーション部）
- 12-5 脊椎術後回復期患者における低栄養と運動機能重症度の相互作用がFIM効率に与える影響－仮説検証と今後の展望－**
石井 健史（医療法人社団苑田会 苑田会ニューロリハビリテーション病院
リハビリテーション科）
- 12-6 当院の大腿骨骨折患者の実績指数除外対象の者選定についての検証－入院時介護保険認定と実績指数等との関係－**
中澤 幹夫（医療法人社団幸隆会 多摩丘陵リハビリテーション病院
リハビリテーション技術部）
- 12-7 脊椎圧迫骨折患者の再発・再入院に関する一考察－回復期リハビリテーション病棟における過去9年間の縦断的調査－**
邑口 英雄（日高病院）

□述演題 13

2月6日(金) 13:35～14:25 第6会場(米子コンベンションセンター 6F 第7会議室)

歩行・移動1

座長：西 将則（新東京病院）

- 13-1 回復期脳卒中片麻痺者の臨床的体幹機能検査 (FACT) と歩行自立度との関連およびカットオフ値の検討**
佐々木杏莉（啓仁会 石巻ロイヤル病院 リハビリテーション部）
- 13-2 ENAPLE－AFO装着により反張膝が改善し、実用歩行を獲得・復職し得た脳卒中片麻痺の一例**
烏谷 香蓮（医療法人同仁会 おおぞら病院 リハビリテーション部）

○13-3 股関節疾患患者の退院後歩行能力に及ぼす外来リハビリの継続と歩行解析フィードバックの影響

須田 晃平（医療法人社団巨樹の会 原宿リハビリテーション病院 医療技術部
リハビリテーション科）

○13-4 糖尿病足壊疽による両側下腿切断となった症例に実施した義足歩行獲得を目指したリハビリテーションプログラムの報告

橋場 裕一（医療法人友愛会 盛岡友愛病院 リハビリテーション技術部）

○13-5 SPS-AFO装着下でのBWSTTが歩行中の下腿筋活動パターンの改善に寄与し、歩行能力が向上した脳卒中片麻痺患者の一例

竹光 一登（医療法人紅萌会 福山記念病院 リハビリテーション科）

○13-6 腰部脊柱管狭窄症による下腿筋力低下に対するL300Goの治療効果の検討

後藤 健希（医療法人社団行陵会 京都大原記念病院グループ
京都近衛リハビリテーション病院）

○13-7 重度感覚障害を有した患者に対し起立反復による体性感覚の入力により身体機能面向上を認めた一症例

田中 裕明（社会医療法人若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院
リハビリテーション部 リハビリテーション科）

□述演題 14

2月6日（金） 14:35～15:25 第6会場（米子コンベンションセンター 6F 第7会議室）

歩行・移動2

座長：岩田 友（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

○14-1 回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折患者の歩行自立及び自宅退院の予測因子－地域特性を考慮した検討－

中屋敷 茜（公益社団法人花巻共立会 総合花巻病院 地域リハビリテーションセンター・
リハビリテーション部）

○14-2 外傷と人工膝関節置換術後に異常な下肢痛が生じ破局的思考に陥った困難症例に対しミラーセラピーを行い歩行自立に至った1例

菅沼 宏之（医療法人溪仁会 札幌溪仁会リハビリテーション病院 診療部
リハビリテーション科）

○14-3 回復期リハビリテーション病棟における重症患者の自力歩行獲得に入院時の身体機能評価及び基本動作能力が及ぼす影響：疾患別による層別化解析

佐々木辰平（IMS グループ医療法人社団明生会 イムス札幌リハビリテーション病院
リハビリテーション科）

○14-4 横断性脊髄炎による対麻痺症状で座位保持困難の状態から課題思考型アプローチの介入を継続し独歩自立となり復職に至った1症例

浜崎 祐輔（公益財団法人天理よろづ相談所病院 白川分院 リハビリテーション部）

○14-5 脳卒中症例の歩行獲得へ関わり ～痙縮を考慮したアプローチ～

蜂谷 友規（医療法人社団明芳会 イムス東京葛飾総合病院 リハビリテーション科）

○14-6 膝関節の荷重時痛, 可動域制限により立位, 歩行が困難であった重度片麻痺患者に対し, 装具療法による介入で歩行獲得に至った症例

湯井 杏莉 (医療法人社団巨樹の会 蒲田リハビリテーション・リハビリテーション科)

○14-7 島皮質後部から右下頭頂小葉の病変に対して垂直認知課題と多感覚統合課題を行い自宅退院まで至った症例

尾崎 七海 (医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院 リハビリテーション部)

□述演題 15

2月6日(金) 15:35～16:25 第6会場(米子コンベンションセンター 6F 第7会議室)

歩行・移動3

座長: 長崎 正義 (隠岐病院)

○15-1 回復期入院期間を延長したことで歩行自立を達成した脊髄梗塞の一例

佐々木貴弥 (公益財団法人いわてリハビリテーションセンター 機能回復療法部 理学療法科)

○15-2 予後予測AIを用いた歩行可否予測の他施設大規模モデルと自施設小規模モデルの比較

高橋 孝多 (社会医療法人信愛会 交野病院 リハビリテーション科)

○15-3 回復期脳卒中患者における退院時歩行能力別にみた発症1・2ヶ月時点の身体機能の比較 ～当院回復期病棟における検討～

石川 祐輔 (健佑会 いちはら病院 リハビリテーション療法科)

○15-4 脳卒中患者の歩行自立を促進する意欲とエネルギー摂取量の相乗効果

藤田 貴昭 (福島県立医科大学 保健科学部 作業療法学科)

○15-5 回復期リハビリテーション病院が取り組む介護予防事業について –継続による体力基準値の変化–

真庭 弘樹 (IMS<イムス>グループ 医療法人社団明芳会
イムス板橋リハビリテーション病院 リハビリテーション科)

○15-6 小脳梗塞症例に対する課題指向型アプローチの経験 ～Wii Balance Boardを用いた評価が治療の一助となった一例～

山野 敏志 (福井総合病院 診療支援部 リハビリテーション課 理学療法室)

○15-7 心原性脳塞栓症により重度右片麻痺及び失語症・脱抑制を呈した症例の理学療法介入

福井 智葵 (和風会 千里リハビリテーション病院)

□述演題 16

2月6日(金) 16:35～17:25 第6会場(米子コンベンションセンター 6F 第7会議室)

歩行・移動4

座長: 井川 鋭史 (医療法人公仁会 姫路中央病院)

○16-1 回復期脳卒中患者における歩行自立予測モデルの構築: 決定木及びランダムフォレストの比較

中尾 章吾 (社会医療法人畿内会 岡波総合病院 リハビリテーション科)

O16-2 左大腿切断後に断端形成が不十分だったが義足歩行を獲得した一症例

野坂 佳生（社会医療法人仁厚会 米子東病院）

O16-3 弾性緊縛帯による体幹安定化が歩行自立に寄与した小脳性運動失調の症例

柴田有希菜（IMS〈イムス〉グループ イムス板橋リハビリテーション病院
リハビリテーション科）

O16-4 免荷トレッドミル歩行訓練とリズム聴覚刺激の併用により左右対称性が改善され、歩行能力が向上した症例

保泉 優輝（医療法人社団苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院
リハビリテーション部）

O16-5 橋梗塞に小脳障害を併存した症例の階段昇降獲得に向けた理学療法 ～外在的フィードバックと動作手順化の活用～

木村 祥吾（医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院 セラピー部）

O16-6 脳卒中患者の歩行能力改善に向けて Arm Swing に着目した介入

山中 迪（社会医療法人財団池友会 青山リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O16-7 Mixed Reality とトレッドミル歩行を併用した半側空間無視および同名半盲への評価・介入効果

高橋 翔太（名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院 リハビリテーション技術科）

口述演題 17

2月6日（金） 10:25～11:25 第7会場（米子コンベンションセンター 5F 第4会議室）

コミュニケーション

座長：山崎龍之介（京都大原記念病院）

O17-1 重度失語症を呈していたが、コミュニケーション練習を経て積極的に会話の参加が可能になった一例

最田 真未（社会医療法人甲友会 西宮協立リハビリテーション病院
リハビリテーション部 言語聴覚科）

O17-2 重度身体障害患者への心理的負担の軽減に向けた意思表出支援

持田 あい（医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション病院）

O17-3 ALS 進行期患者における本人の希望と予後を見据えたリハビリテーションの取り組み ～回復期リハビリテーション病棟でのコミュニケーション支援と多職種連携～

長田 貴法（平成博愛会 博愛記念病院 リハビリテーション部）

O17-4 左側頭葉の心原性脳梗塞により失語症を呈した症例に対し、絵や図を使用することでコミュニケーション手段を獲得した症例

和田 拓夢（学校法人昭和医科大学 藤が丘リハビリテーション病院
リハビリテーションセンター）

O17-5 課題の共有により洗濯動作の自立に繋がった症例 – Assessment of Client's Enablement を (ACE) 用いて –

中嶋 悠仁（桂名会 木村病院 リハビリテーション部）

○17-6 回復期におけるケアリングと信頼関係の構築 –役割喪失した高齢患者との関わりを通して–

久中 祐二（福井県立病院／南福岡脳神経外科病院）

○17-7 ボイスメモアプリが視覚的フィードバックに有用であった一側性上位運動ニューロン性構音障害の一例

三浦 茜（津軽保健生活協同組合 健生病院 リハビリテーション科）

口述演題 18

2月6日(金) 11:25～12:15 第7会場(米子コンベンションセンター 5F 第4会議室)

服薬管理・薬剤1

座長：三浦小百合（長崎リハビリテーション病院）

○18-1 回復期リハビリテーション病棟における退院後の服薬管理継続に向けた有効な支援

佐々木 翔（独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター 看護部）

○18-2 回復期リハビリテーション病棟における内服自己管理インシデント減少への取り組み

谷口佳也子（藤田医科大学七栗記念病院 看護部）

○18-3 内服自己管理への取り組み ～Dr. SUPERMAN 牧リハ版を使用したフローチャート・評価の導入を目指して～

木戸 七海（社会医療法人 ONE FLAG 牧リハビリテーション病院 看護部）

○18-4 内服自己管理に向けた評価基準の見直し

福本 楓（医療法人社団 shindo 旭川リハビリテーション病院）

○18-5 当院における不穏時指示薬の使用判断に関して看護師が困難と感じる要因

海下布左子（医療法人せいわ会 登美ヶ丘リハビリテーション病院
認知症ケアサポートチーム）

○18-6 在宅高齢者の服薬管理にみる認知機能と環境の実態調査－認知的オフローディングによる考察

釣 由美（医療法人社団英明会 大西脳神経外科病院 看護部）

○18-7 当院における内服管理方法の見直し –服薬能力判定試験及び服薬管理能力評価スケールの導入–

尾崎 祐斗（医療法人慈圭会 八反丸リハビリテーション病院）

口述演題 19

2月6日(金) 13:35～14:25 第7会場(米子コンベンションセンター 5F 第4会議室)

就労・就学支援1、家屋改修・福祉機器・環境整備

座長：森戸 崇行（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

○19-1 当院回復期リハビリテーション病棟退院後、在宅生活を経て復職を目指した一症例

山田 達己（博仁会 福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部 回復期リハ）

- O19-2 就労支援の実施に関する臨床アルゴリズムの有用性 ～運用開始前後の就労支援実績による検討～**
石森 綾美（公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 リハビリテーション部）
- O19-3 回復期リハビリテーション病棟での就労支援の課題～脳血管疾患患者の1事例を用いて～**
大谷 理恵（社会医療法人創和会 しげい病院 地域連携室）
- O19-4 回復期病棟から独居生活再開に向けた住環境整備の実態 –被殻出血患者における考察–**
鋸屋 大志（医療法人清水会 脳神経リハビリ北大路病院 リハビリテーション部）
- O19-5 自走式車椅子のスポークカバーの有用性と医療安全**
福代 大輔（医療法人徳洲会 出雲徳洲会病院 リハビリテーション科）
- O19-6 入院時訪問指導及び退院前訪問指導が、疾患別に分類された入院患者のADLと在院日数に与える影響**
池田 侑太（医療法人財団聖十字会 西日本病院 総合リハビリテーション部）
- O19-7 車いす自走用キャスター補助デバイス「キャスターバンド®」の効果検証(成人事例の場合)**
佐藤 義文（札幌溪仁会リハビリテーション病院／Physio 工房）

口述演題 20

2月6日(金) 14:35～15:25 第7会場(米子コンベンションセンター 5F 第4会議室)

排泄1

座長：高木 朋子（東京湾岸リハビリテーション病院）

- O20-1 回復期リハビリテーション病棟入院患者における排泄動作自立困難な患者の自宅復帰に必要な因子の検討**
藤山 笑歌（医療法人友絃会 皆生温泉病院 リハビリテーション部）
- O20-2 FIM評価を意識した排泄自立への取り組み**
鈴木 伸子（静清リハビリテーション病院）
- O20-3 片麻痺と認知機能の低下を認めた方へのトイレ動作介入 ～Toileting Tasks Assessment Formを使用した症例～**
西尾 大輝（横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院 リハビリテーション課）
- O20-4 教育と連携でもたらした成果 ～笑顔につなぐ排泄ケア～**
辻 義亮（社会医療法人若竹会 土浦リハビリテーション病院介護医療院 看護部
回復期リハビリテーション病棟）
- O20-5 2024年度排尿ケアチーム発足後1年間の活動実績と今後の課題**
増田 尚子（医療法人社団輝生会 船橋市立リハビリテーション病院 回復期支援部）
- O20-6 患者にあった紙おむつの選択と適正使用のための取り組み ～アテントマイスター・プロ取得に向けた教育体制の整備～**
佐々木由美（医療法人溪仁会 札幌溪仁会リハビリテーション病院 地域医療連携室）

□述演題 21

2月6日(金) 15:35～16:25 第7会場(米子コンベンションセンター 5F 第4会議室)

自動車運転

座長：岩崎 大輔（養和病院）

○21-1 脳卒中患者の希望に寄り添った自動車運転再開支援に対する言語聴覚士の関わり

大地 泉美（医療法人社団永生会 新八千代病院 リハビリテーション科）

○21-2 経験と操作画面サイズから見たマッチングパズル実施時の眼球運動について

久納 健太（医療法人和光会 山田病院 リハビリテーション部）

○21-3 脳損傷後の自動車運転再開支援自験例3年間のまとめ

井後 雅之（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

○21-4 注意障害患者に対する運転再開に向けた介入

川上 実紀（医療法人博愛会 額田病院 リハビリテーション部）

○21-5 ドライブシュミレーターを用いた運転支援への取り組み

平林 克得（医療法人信和会 和田病院 リハビリテーション課）

○21-6 自動車運転再開における神経心理学的検査の有用性：ハンドル操作精度との関連

内田 迅（医療法人三井会 神代病院 診療技術部 リハビリテーション科）

○21-7 回復期リハビリテーション病棟における自動車運転再開支援の現状と追跡調査結果

吉武 英敏（社会医療法人天神会 新古賀リハビリテーション病院みらい
リハビリテーション課）

□述演題 22

2月6日(金) 16:35～17:25 第7会場(米子コンベンションセンター 5F 第4会議室)

病棟マネジメント1

座長：池淵 美希（養和病院）

○22-1 股関節骨折患者に対する急性期から回復期への骨粗鬆症治療指導の継続への取り組み

望月 猛（鎌ヶ谷総合病院 整形外科）

○22-2 回復期リハビリテーション病棟における義足リハビリテーションプロトコルの活用とその効果

田中 洋平（JR 東京総合病院 リハビリテーション科）

○22-3 回復期リハビリテーション病棟における痙縮回診とボツリヌス療法へのシームレスな移行の取り組み

吉竹 陽介（医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院／
佐賀大学大学院先進健康科学研究科）

○22-4 回復期リハビリテーション病棟における退院支援計画の仕組化がもたらす効果 一人に頼らず仕組みによる病棟運営を目指して

東 久也（社会医療法人大雄会 大雄会第一病院 リハビリテーションセンター）

○22-5 回復期リハビリテーション病棟におけるフロアマネジャーの配置による効果

川口 将史（社会医療法人明和会 中通リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

〇22-6 カンファレンスの質向上に向けた取り組み

小林 利行（医療法人溪仁会 札幌溪仁会リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

〇22-7 病床稼働98%の維持を可能にした病棟運営の実践的取り組み

畑中 美穂（医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院 回復期生活期支援部）

口述演題 23

2月6日(金) 10:25～11:25 第8会場(米子コンベンションセンター 5F 第5会議室)

ADL・IADL5

座長：北山 朋宏（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

〇23-1 回復期リハビリテーション病棟における脳血管障害症例へのIADL(家事動作)訓練の実態

中野佐和子（社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 兵庫県立リハビリテーション中央病院
リハビリ療法部・作業療学科）

〇23-2 左大腿骨転子部骨折により骨接合術後 靴着脱動作に着目した症例報告

川口 駿輔（鳥取医療生活協同組合 鳥取生協病院 リハビリテーション室）

〇23-3 視覚的フィードバックにより運動主体感の向上と起居動作時間の短縮に至った脳卒中片麻痺例

秋本 凌雅（医療法人社団苑田会 花はたりリハビリテーション病院 リハビリテーション科）

〇23-4 左肩甲骨外転への介入によりお椀保持の左上肢の動揺が軽減した脳梗塞の一症例

津本 愛彩（医療法人寿山会 喜馬病院 リハビリテーションセンター）

〇23-5 更衣ワーキンググループの活動報告 ～更衣頻度向上への取り組み～

井本 佑子（社会医療法人大道会 森之宮病院 リハビリテーション部 作業療学科）

〇23-6 上肢機能障害・高次脳機能障害を有する脳卒中患者に対する在宅調理動作再獲得への支援と工夫

尾崎 礼果（川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター）

〇23-7 Pusher現象の改善がみられた一症例 ―麻痺側への側臥位を用いて―

山蔭 優子（医療法人社団慶泉会 町田慶泉病院 リハビリテーション部）

口述演題 24

2月6日(金) 11:25～12:15 第8会場(米子コンベンションセンター 5F 第5会議室)

ADL・IADL6

座長：久保 進也（札幌溪仁会リハビリテーション病院）

〇24-1 回復期リハビリテーション病棟入院中に慢性硬膜下血腫が再発した症例の臨床経過

永田あかり（医療法人せいわ会 ならまちリハビリテーション病院）

〇24-2 外傷性頸髄損傷を既往歴にもつ脳血管疾患患者を担当して ～排泄動作の獲得・自宅復帰を目指した一症例～

酒井 優樹（社会医療法人生長会 ベルピアノ病院 リハビリテーション室）

O24-3 重度頸髄損傷における自助具と環境調整による生活動作支援

安西 萌乃（川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部・作業療法学科）

O24-4 回復期病棟におけるFIM採点誤りの分布と運用課題：四分位群比較による検討

西崎 結香（宝塚リハビリテーション病院 療法部）

O24-5 回復期にて理学療法を担当し、退院後も生活期にて同じく担当になった一症例

益田 悠妃（社会福祉法人こうほうえん 通所リハビリテーションきんかい／
社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院
リハビリテーション技術部）

O24-6 左前頭葉の梗塞による本能性把握反応を呈した患者に対し、右手で食事が1人で可能となった一例 ～運動主体感と身体所有感の獲得～

佐藤 瑠子（医療法人社団巨樹の会 蒲田リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O24-7 看護師との連携により活動量拡大と日常生活活動の向上が得られた脳卒中片麻痺一例

小泉 敦紀（医療法人社団苑田会 花はたりリハビリテーション病院 リハビリテーション科）

口述演題 25

2月6日（金） 13:35～14:25 第8会場（米子コンベンションセンター 5F 第5会議室）

チームアプローチ2

座長：高岡佐和子（京都大原記念病院グループ 介護老人保健施設 博寿苑）

O25-1 季節感を取り入れた回復期におけるレクリエーション「修正版・さがみりハ夏祭り」の実施

兼田和佳奈（医療法人社団哺育会 さがみりリハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O25-2 地域高齢者向け健康サロンー回復期セラピストによる地域活動報告ー

大町 勇都（社会福祉法人東京有隣会 有隣病院 リハビリテーション室）

O25-3 患者のADL支援に対してカンファレスが功奏した症例

池田 光希（一般社団法人巨樹の会 新宇都宮リハビリテーション病院
リハビリテーション課）

O25-4 重度脳卒中患者に対する移乗動作における病棟スタッフとの連携の工夫

市川 裕貴（社会医療法人加納岩 山梨リハビリテーション病院
リハビリテーション部・理学療法課）

O25-5 脳卒中後上肢運動麻痺患者に対する段階的介入の効果：ガイドラインに準じた介入に加え多職種連携によるアプローチにて両手での家事動作獲得に至った一症例

石原 綾音（社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター リハビリテーション部／
社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター 看護部／
社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター 診療部）

O25-6 多職種に対して介助方法を統一する介護支援勉強会を開催し、日常生活の自立度改善に向け協働した一例

長崎 正義（隠岐広域連合立 隠岐病院 リハビリテーション技術科）

O25-7 退院困難から在宅実現へ ～重度障害例を支えた家族指導と多職種連携～

小柳 翔平（一般社団法人巨樹の会 新武雄病院 リハビリテーション科）

口述演題 26

2月6日(金) 14:35～15:25 第8会場(米子コンベンションセンター 5F 第5会議室)

チームアプローチ3

座長：岩田 知穂（医療法人財団公仁会 鹿島病院）

O26-1 多職種カンファレンスでの支援により常食一部自力摂取が可能となった脳幹出血の一症例

浅井 文菜（社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 回復期リハ科）

O26-2 若手が働きやすい職場づくりに向けた2チーム4ユニット制の効果と課題

竹之内 純（医療法人社団淳英会 おゆみの中央病院 リハビリテーション部）

O26-3 橋梗塞により重度右片麻痺を呈した患者に対する移乗動作の介助量軽減に向けた理学療法介入と病棟スタッフとの協業

石崎 利幸（社会医療法人加納岩 山梨リハビリテーション病院
リハビリテーション部・理学療法課）

O26-4 スプリント自己装着の獲得に向けた他職種での取り組み ―失語・失行を呈した症例―

茂木 凜（医療法人社団巨樹の会 蒲田リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O26-5 サブリーダー制度を通して退院後の生活を見据えた介入を行った一例

藤原 侑（公益財団法人操風会 岡山リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O26-6 嚥下障害患者における多職種連携が功奏した一例

澤山 凜（医療法人財団伊予病院 リハビリテーション部）

O26-7 環境の変化がBPSDを悪化させた脳出血患者への支援OPAT6による課題分析と多職種連携支援の実践

柴田 圭介（IMS＜イムスグループ＞医療法人社団明生会
イムス札幌リハビリテーション病院）

口述演題 27

2月6日(金) 15:35～16:25 第8会場(米子コンベンションセンター 5F 第5会議室)

チームアプローチ4

座長：波多野陽子（河北リハビリテーション病院）

O27-1 両側延髄内側梗塞により四肢麻痺を呈し重度介助を要した症例 ～多職種連携による離床拡大を目指して～

宮下 郁也（医療法人社団哺育会 桜ヶ丘中央病院 リハビリテーション科）

O27-2 多職種連携による生活リハビリテーション実践を通して明らかとなった課題と今後の展望

面湊祐太郎（福井総合病院 リハビリテーション課）

O27-3 KTBCを利用した回復期から維持期での摂食嚥下状況改善への取り組み

内田 貴基（社会医療法人同愛会 博愛病院 回復期リハビリテーション病棟）

O27-4 回復期リハビリテーション病棟における多職種連携を通じて自宅退院が可能になったバリスム様運動過多を呈した脳卒中の一例

大山 拓真（社会医療法人友志会 リハビリテーション翼の舎病院 リハビリテーション部）

O27-5 当院における脳卒中後うつ病の現状把握と今後の課題

中村ひかる（医療法人社団東洋会 池田病院 リハビリテーション部）

O27-6 重度片麻痺患者に対して多職種連携介入を行ったことで在宅復帰が実現した症例 ～食事動作からの介入～

山本 由輝（社会医療法人至仁会 圏央所沢病院 コ・メディカル部 リハビリテーション科）

O27-7 痙縮治療における法人内連携を試みた一事例

茂木 南（社会医療法人若竹会 土浦リハビリテーション病院）

口述演題 28

2月6日(金) 16:35～17:25 第8会場(米子コンベンションセンター 5F 第5会議室)

チームアプローチ5

座長：坂根 亜紀（西広島リハビリテーション病院）

O28-1 純粋失読患者の障害適応の支援 ～障害受容のステージ理論による一考察～

田米 美里（社会福祉法人恩賜財団 済生支部 三重県済生会明和病院）

O28-2 当院回復期リハビリテーション病棟における多職種連携能力の現状把握と取り組み効果の検証

白井 孝尚（医療法人寿山会 喜馬病院 リハビリテーションセンター）

O28-3 当院回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリノートを用いたリハビリ目標共有の取り組み：傾向スコアによる逆確率重み付け法を用いた効果検証

菊地 康希（IMS(イムス)グループ イムス札幌リハビリテーション病院
リハビリテーション科）

O28-4 身体拘束最小化に向けた取り組みについて

細川 麻美（社会医療法人河北医療財団 河北リハビリテーション病院）

O28-5 重症ミラーフィッシャー症候群に対する回復期リハビリテーションの経験 –長期的視点に立った段階的介入–

柳瀬 篤徳（社会医療法人天神会 新古賀リハビリテーション病院みらい
リハビリテーション課）

O28-6 永生病院 回復期リハビリテーション病棟におけるチームアプローチ 5年間の取り組み

杉山 陽一（医療法人社団永生会 永生病院）

O28-7 回復期リハビリテーション病棟看護師における退院後を見据えた目標設定の実践と工夫 ～「できるADL」を「しているADL」にするために～

山本亜耶佳（社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院）

口述演題 29

2月6日(金) 10:25～11:25 第9会場(米子コンベンションセンター 3F 第2会議室)

業務改善、DX1

座長：金谷 隆範（札幌湊仁会リハビリテーション病院）

O29-1 診療録作成業務における人工知能システムの影響

小城 遼太（医療法人せいふう会 川西リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O29-2 ナイトリハ導入が回復期リハビリテーション病棟患者の早期ADL改善に与える影響

古平 駿（関西医科大学くずは病院 リハビリテーションセンター）

O29-3 ユビー生成AIの導入プロセス－当院のAI導入から見えた課題－

廣山 貴之（社会医療法人仁厚会 米子東病院 リハビリテーション科）

O29-4 院内デイケアの再構築に向けた希望制導入の取り組み

山田 航平（医療法人博仁会 志村大宮病院 回復期リハビリテーション病棟）

O29-5 入院調整業務について

岡本みゆき（医療法人協和会 第二協立病院 地域医療連携室）

O29-6 リハビリ科クラウド導入による業務効率化について

原田 慎也（医療法人社団東光会 戸田中央リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O29-7 人事管理システムの導入による情報の一元化と業務効率化

木川 和子（医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院）

口述演題 30

2月6日(金) 11:25～12:15 第9会場(米子コンベンションセンター 3F 第2会議室)

業務改善、DX2

座長：井上 靖悟（東京湾岸リハビリテーション病院）

O30-1 当院回復期リハビリテーション病棟における集団訓練の実態～意識調査を通して～

鈴木 絵美（社会医療法人平成醫塾 苫小牧東病院）

O30-2 回復期病棟における患者スケジュール提示方法の改善－手書きから印刷出力への移行による業務負担の変化－

測上 正浩（横浜鶴見リハビリテーション病院）

O30-3 チーフ業務を効率化するマネジメントシステムの開発と導入効果の検証

畑田俊太郎（一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院 臨床部／
一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院 DX推進本部）

O30-4 ユビー生成AI導入による業務負担の変化

安達 翔吾（社会医療法人仁厚会 米子東病院 リハビリテーション科）

O30-5 回復期リハビリテーション病棟における病棟薬剤業務に対する多職種への影響調査

西崎あかり（社会医療法人創和会 しげい病院 薬剤部）

O30-6 情報共有を目的としたカンファレンスシートの作成

赤岩 喬（医療法人博愛会 額田病院 総合診療科）

O30-7 回復期病棟におけるプチDXによる職場環境改善

下方 茂毅（医療法人桂名会 重工大須病院 診療部リハビリ科）

□述演題31

2月6日(金) 13:35～14:25 第9会場(米子コンベンションセンター 3F 第2会議室)

QOL・心理1

座長：佐藤 浩二（和田病院）

O31-1 両側人工股関節置換術後に他院にて足趾の骨折を生じた一症例 - HOOS日本語版を用いた治療満足度の評価に着目して

中間 涼（医療法人桂名会 リハビリテーション部）

O31-2 認知症患者の想いに寄り添ったレクリエーションの実践報告

椋木咲貴子（学校法人川崎学園 川崎医科大学附属病院
特定機能病院リハビリテーション病棟）

O31-3 回復期リハビリテーション病院で取り組む言語聴覚士主催の地域公開講座について ～板橋を元気に～

荒木 有里（IMS＜イムス＞グループ イムス板橋リハビリテーション病院）

O31-4 若年脳卒中利用者の障害受容に焦点を当てた看護ケアの考察

池淵 美希（医療法人養和会 養和病院 回復期リハビリテーション病棟）

O31-5 推測での目標設定とADOCの経時的な再評価により行動変容に到った症例

岩田 毬那（医療法人博報会 岡崎東病院）

O31-6 隔離と面会制限により長期臥床と意欲低下が生じた多発性脳梗塞症例に対する離床支援

菅野 拓美（医療法人社団健育会 熱川温泉病院 リハビリテーション部・理学療法科）

O31-7 脳卒中後うつ症状が歩行練習による身体機能・日常生活動作の回復に及ぼす影響

前田 貴志（社会医療法人清風会 五日市記念病院 リハビリテーション部／
神戸大学大学院 保健学研究科）

□述演題32

2月6日(金) 14:35～15:25 第9会場(米子コンベンションセンター 3F 第2会議室)

医療安全・医学的管理1

座長：松本 茂男（あおもり協立病院）

O32-1 回復期脳卒中患者における転倒予測の困難性：機械学習モデルと従来手法の精度比較

井上 靖悟（東京湾岸リハビリテーション病院）

O32-2 スマートベッドとインシデントレポートを用いた回復期リハビリテーション病棟転倒事例の解析

尾崎 健一（国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部）

O32-3 回復期リハビリテーション病棟入院患者の身体障害者手帳取得を適切に行う取り組み

門 祐輔（鳥取生協病院 リハビリテーション科）

O32-4 身体的拘束最小化の取り組みと転倒転落率の関係

上坂真奈美（医療法人厚生会 福井厚生病院 3E 病棟）

O32-5 当院回復期リハビリテーション病棟における転倒件数の減少に向けた取り組み

米田 樹（公仁会 鹿島病院 リハビリテーション部・リハビリテーション科）

O32-6 身体拘束ゼロへの取り組み –車椅子テーブル使用の見直しと多職種協働による実践–

津留崎孝義（新古賀リハビリテーション病院みらい）

口述演題 33

2月6日（金） 15:35～16:25 第9会場（米子コンベンションセンター 3F 第2会議室）

医療安全・医学的管理 2

座長：板倉 喜子（白山リハビリテーション病院）

O33-1 ポジショニングにおける知識向上と物品運用改善の取り組み –アンケート調査からの実践的検討–

川瀬 成望（社会医療法人春回会 長崎北病院 総合リハビリテーション部）

O33-2 当院回復期リハビリテーション病棟における転倒転落患者の動向、身体抑制を減らす取り組みと転倒転落の関連について

田邊 智明（社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院 リハビリテーション室）

O33-3 回復リハビリテーション病棟における COVID-19 のクラスター発生調査報告 感染管理認定看護師の視点から

井田 恵都（医療法人友紘会 皆生温泉病院 新2階病棟）

O33-4 行動制限最小化への取り組み ～センサー機器選択基準の導入～

西村 正登（医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院）

O33-5 当院における歩行自立判定時の Functional Balance Scale 評価の調査 –歩行自立判定後の非転倒群と転倒群の比較–

金森 慎治（新須磨リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O33-6 当院回復期リハビリテーション病棟におけるナースコール評価の導入とその効果について ～離床センサーの早期解除に向けて～

齋藤 駿（医療法人社団登豊会 近石病院 リハビリテーション部）

O33-7 あおもり協立病院回復期病棟における転倒・転落予防対策への取り組み ～転倒リスク評価表の妥当性について～

森山 暁（青森保健生活協同組合 あおもり協立病院 リハビリテーション科／
国立大学法人 弘前大学大学院保健学研究科）

□述演題 34

2月6日(金) 16:35～17:25 第9会場(米子コンベンションセンター 3F 第2会議室)

医療安全・医学的管理3

座長：和田 純治（医療法人信和会和田病院）

O34-1 身体拘束解除に向けた話し合いでの解除判定に必要な視点の整理

平野 絵美（社会医療法人友志会 リハビリテーション翼の舎病院）

O34-2 回復期リハビリテーション病棟における手指衛生に関する実態と改善の試み ―擦式アルコール製剤使用量に着目して―

内田 啓介（医療法人社団巨樹の会 小金井リハビリテーション病院）

O34-3 介入時転倒の増加に対する教育的要因の検討 ＝現場教育の限界と課題＝

稲垣 奈美（医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院 看護部）

O34-4 新転倒アセスメント評価の検証

森下 千晶（福井総合病院 リハビリテーション課 作業療法室）

O34-5 ATP拭き取り検査を用いたリハビリテーション室の備品の汚染度調査

富田 憲（藤田医科大学七栗記念病院 リハビリテーション部）

O34-6 当院回復期病棟における転倒発生の傾向とリスク要因の検討

江部 圭佑（社会医療法人交雄会メディカル 交雄会新さっぽろ病院 リハビリテーション科）

O34-7 TKA後の膝関節脱臼高リスク患者に対する理学療法介入の一例

橋本 一輝（社会医療法人 ONE FLAG 牧リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

□述演題 35

2月6日(金) 10:25～11:25 第10会場(米子コンベンションセンター 3F 第3会議室)

摂食嚥下・栄養1

座長：尾崎 健一（国立長寿医療研究センター）

O35-1 回復期病棟におけるリハビリテーション栄養実践へ向けた課題

村田 寛子（公益財団法人操風会 岡山リハビリテーション病院 言語聴覚室）

O35-2 当院回復期リハビリテーション病棟における経管栄養離脱要因に関する検討 ～嚥下スクリーニングテスト以外の要因に着目して～

松田 直哉（医療法人社団生和会 周南リハビリテーション病院）

O35-3 延髄梗塞・気管切開術後の利用者における完全側臥位法を用いた経口摂取導入と退院後嚥下機能経過

平野 祐紀（医療法人養和会 養和病院 回復期リハビリテーション病棟）

O35-4 経鼻経管栄養から経口摂取に向けた取り組み 1 症例 Head controlに着目して

谷岡 俊（医療法人公仁会 姫路中央病院 リハビリテーション科）

O35-5 NSTにおける理学療法士参画の意義 ―リハビリテーションからみた栄養―

志方 淳（社会医療法人東和会 第二東和会病院 診療技術リハビリテーション部
リハビリテーション科）

O35-6 患者に合わせた摂食機能療法の実践報告 ～フローチャート、訓練表を使用して～

若林 光明（東京都リハビリテーション病院 看護部 4S 病棟）

O35-7 回復期リハビリテーション病棟におけるたんぱく質強化食と運動療法による骨格筋量変化の検討 –異なる病態を有する脳卒中および整形外科術後患者2例を通して–

谷名 英章（関西電力病院／関西電力病院 疾患栄養治療センター／関西電力医学研究所）

口述演題 36

2月6日(金) 11:25～12:15 第10会場(米子コンベンションセンター 3F 第3会議室)

摂食嚥下・栄養2

座長：河上 澄子（京都大原記念病院）

O36-1 味覚障害を伴うがん患者に対して栄養管理を行いADLが改善した一例

川村 奈穂（藤田医科大学 七栗記念病院 医療技術部 食養課）

O36-2 回復期運動器疾患患者における運動FIM利得と栄養・炎症指標の関連

安藤 準（桂名会 重工大須病院 リハビリテーション部）

O36-3 低栄養診断と食支援体制の充実に向けた取り組み

松本 陽子（医療法人養和会 養和病院 栄養課）

O36-4 回リハ入棟摂食嚥下障害患者における新規口腔乾燥物除去剤の臨床効果評価 –従来口腔保湿剤との比較

源間 隆雄（医療法人札幌麻生脳神経外科病院 リハビリテーション部）

O36-5 回復期リハビリテーション病棟における栄養カンファレンスの関わりで経口摂取に繋がった一症例 ～作業療法士視点からの介入～

五島 伶奈（社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 回復期リハ科）

O36-6 回復期病棟におけるGLIM基準と低栄養改善因子の検討 –栄養・認知・身体機能との関連–

柏木香菜子（社会医療法人天神会 新古賀リハビリテーション病院みらい 栄養管理課）

O36-7 回復期リハビリテーション病棟における運動器疾患患者の入棟時GLIM基準とFIMとの関連性

森戸 裕也（医療法人偕行会 偕行会リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

口述演題 37

2月6日(金) 13:35～14:25 第10会場(米子コンベンションセンター 3F 第3会議室)

高次脳機能・認知機能1

座長：玉井 智（昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院）

O37-1 オピオイド中毒後のDelayed Post-Hypoxic Leukoencephalopathyにおける臨床経過と高次脳機能障害特性について

小川 智生（福井総合病院 診療支援部 リハビリテーション課 理学療法室）

O37-2 認知症高齢者への回想法を用いた会話による心理的安定の効果

三好 亜樹（医療法人秀友会 札幌秀友会病院 看護部 3 病棟）

- O37-3 高次脳機能障害に対し行動観察に基づく個別化支援により行動変容を段階的に促した一症例**
高田 珠加（東京湾岸リハビリテーション病院）
- O37-4 左視床出血後に病態失認を呈した症例に対する病識理解に向けた介入の工夫**
住田 温子（医療法人寿山会 喜馬病院 リハビリテーションセンター）
- O37-5 作業活動を通じて病識の獲得を目指した経験**
越智 瑞生（社会医療法人甲友会 西宮協立リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- O37-6 病識獲得のためのフィードバックを試みた失語症・注意障害の一症例**
和田守紗也（医療法人協和会 第二協立病院 リハビリテーション科）
- O37-7 認知能力低下により不穏・声出しを呈する患者への理学療法アプローチ**
櫻井由紀野（社会福祉法人聖テレジア会 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 リハビリテーション部）

口述演題 38 2月6日(金) 14:35～15:25 第10会場(米子コンベンションセンター 3F 第3会議室)

高次脳機能・認知機能 2

座長：佐藤 義朝（いわてリハビリテーションセンター）

- O38-1 超高齢半側空間無視に対するプリズム療法の段階的適用と作業療法併用の効果 – ABAB シングルケースデザインによる検討 –**
折小野はるみ（医療法人慈圭会 八反丸リハビリテーション病院 リハケア部）
- O38-2 照光式押しボタンスイッチにより二者択一の選択が可能となった脳卒中後重度コミュニケーション障害の一例**
堀口 希歩（社会医療法人 ONEFLAG 牧リハビリテーション病院 リハビリテーション部 言語聴覚療法科）
- O38-3 iPadを用いた代償手段訓練を導入した純粋失書の一例**
中村 凌（医療法人社団葵会 AOI 七沢リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- O38-4 重度失語症患者に対する認知関連行動アセスメント&アプローチ (CBA) の活用により ADL能力の向上を認めた症例**
落合 若奈（医療法人社団哺育会 桜ヶ丘中央病院 リハビリテーション科）
- O38-5 失語による聴覚理解低下に対する、視覚を活用した訓練が学習効率向上に繋がった事例**
池田佳奈穂（医療法人公人会 姫路中央病院 回復期病棟 リハビリテーション科）
- O38-6 注意障害、記憶障害を呈した患者に対し、メモリーノートの工夫により病棟生活での混乱が改善した一例**
金崎 溪夏（昭和医科大学 藤が丘リハビリテーション病院 統括リハビリテーション技術部）
- O38-7 Balint症候群に対する回復期リハビリテーション病棟での取り組み <地域のなかの回復期第一報>**
越智 崇（医療福祉生活協同組合おおさか 東大阪生協病院 リハビリテーション科）

□述演題 39

2月6日(金) 15:35～16:25 第10会場(米子コンベンションセンター 3F 第3会議室)

上肢へのアプローチ

座長：竹内 勇登（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

○39-1 重度上肢麻痺に対するBrain-Machine Interface併用訓練の臨床的・神経生理学的効果－第一報 ヒストリカルコントロール研究－

佐藤 一秀（川崎医科大学附属病院／川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部）

○39-2 右片麻痺患者に対して、中枢部への介入を行い、普通箸での食事動作獲得に至った経験

高橋 快（社会医療法人甲友会 西宮協立リハビリテーション病院
リハビリテーション部 作業療法科）

○39-3 重度触覚障害を呈した頸椎性脊髄症患者へ代償手段を使用し、職場復帰に繋げた一例

芦田勇太郎（医療法人ハートフル アマノ病院 リハビリテーション部）

○39-4 重度片麻痺上肢患者の補助手獲得に向けた試み

平山 奈緒（医療法人せいふう会 川西リハビリテーション病院）

○39-5 凍結肩に対する拡散型体外衝撃波が起居動作再獲得に有効であった慢性片麻痺患者の一例

山口 智広（医療法人社団輝生会 成城リハビリテーション病院 回復期支援部）

○39-6 回復期リハビリテーション病棟入院患者におけるFMA混合モデルを用いた上肢運動機能回復と生活動作自立の症例

天王寺谷康樹（社会医療法人治地友会 青山リハビリテーション病院 医療技術部
リハビリテーション科）

○39-7 重度上肢麻痺に対するBrain-Machine Interface併用訓練の臨床的・神経生理学的効果－第二報 脳波指標を用いた検討－

佐藤 一秀（川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部）

□述演題 40

2月6日(金) 16:35～17:25 第10会場(米子コンベンションセンター 3F 第3会議室)

質の評価・アウトカム評価2

座長：藤田 正明（伊予病院）

○40-1 入院時5項目（MMSE・最大握力・トイレ移乗FIM・年齢・性別）を用いた脳梗塞患者の退院時運動FIM予測モデルの構築

白川 涼太（医療法人社団巨樹の会 原宿リハビリテーション病院 医療技術部
リハビリテーション科）

○40-2 回復期脳卒中患者における当院退院時運動FIM予測の検証と振り返り

橋本 祥行（医療法人社団輝生会 船橋市立リハビリテーション病院 回復期支援部）

○40-3 韓国回復期医療体系の導入方案研究（日本及び欧米の事情をふまえて）

Kang joohyun（大韓医師協会医療政策研究院）

- O40-4 重度脳血管疾患患者に対する回復期リハビリテーション病棟での改善効果と在宅復帰の関連因子**
三浦 恭平（一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院）
- O40-5 回復期リハビリテーション病棟入院中における運動に対する動機づけの変化について**
山本 拓実（社会医療法人三車会 貴志川リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- O40-6 当院におけるクリニカルパス使用後の負のバリエーション報告**
入井 裕太（医療法人慈主会 八反丸リハビリテーション病院 リハケア部）
- O40-7 当院の大腿骨近位部骨折術後2週目の歩行能力が術後アウトカムに与える影響**
寺崎 豊（社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院）

口述演題41

2月6日(金) 10:25～11:25 第11会場(米子市文化ホール 2F 研修室)

装具・ロボット・リハ機器1

座長：大谷 侑資（養和病院）

- O41-1 Mixed Realityを用いた半側空間無視および注意障害への治療が空間認知とADLに影響した一症例**
佐藤 勇仁（神戸リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- O41-2 下肢装具使用は退院時の日常生活活動を改善するか？回復期脳卒中患者における探索的観察研究**
添田 祥司（医療法人山柳会 あさか相生病院 リハビリテーション科）
- O41-3 長下肢装具を使用した歩行練習時に必要な歩幅目安はどの程度か？－足圧分布センサー付きトレッドミルでの検証－**
山中 梨子（脳神経筋センターよしみず病院 リハビリテーション部）
- O41-4 装具カンファレンスの質向上を目指したアンケート調査と実施の報告**
乾 崇大（医療法人財団医道会 十条武田リハビリテーション病院 リハビリテーション科）
- O41-5 Welwalk 歩行練習時の設定条件とAFO異常歩行の比較－アシストによる歩容修正と定常歩行の違いに着目した記述的症例報告－**
上野 美月（医療法人社団巨樹の会 蒲田リハビリテーション病院 リハビリテーション科）
- O41-6 左視床出血を発症後、歩行補助ロボットを活用した介入が歩行獲得に奏功した症例**
高橋 果菜（社会医療法人若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院
リハビリテーション部）
- O41-7 高齢大腿骨骨折術後患者に対する視覚刺激付きトレッドミル歩行練習による歩幅拡大と転倒予防効果**
南 雄也（市立野洲病院 医療技術部 リハビリテーション課）

口述演題 42

2月6日(金) 11:25～12:15 第11会場(米子市文化ホール 2F 研修室)

装具・ロボット・リハ機器2

座長：古西 幸夫（初台リハビリテーション病院）

O42-1 形性膝関節症を有した脳卒中片麻痺患者に対する下肢装具調整の工夫

伊藤 桃子（社会医療法人若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション部）

O42-2 下肢装具フローチャートの運用による装具療法理解の検証

高橋 一心（医療法人啓仁会 石巻ロイヤル病院 リハビリテーション部）

O42-3 端座位保持も困難な重度右片麻痺患者に対し、早期から仮想現実による体性認知協調療法での介入によりADL改善に繋がった1例

江川 誠（医療法人メディライフ 半田中央病院 リハビリテーション部）

O42-4 左半身の認識低下を呈した患者に仮想現実でのリハビリを行い、補助手獲得に至った症例を経験して

佐藤 吉範（医療法人メディライフ 西知多リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O42-5 回復期脳卒中患者を対象としたロボット機器を活用した自主トレーニングの検討

永井 信洋（社会医療法人若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院）

O42-6 回復期病棟における装具回診の1年間の取り組みとスタッフアンケートによる今後の運営改善に向けた課題

馬淵 重雄（社会医療法人財団白十字会 耀光リハビリテーション病院
リハビリテーション部）

O42-7 Brain-Computer Interfaceを用いて運動麻痺の改善が得られた症例 – 80代アテローム血栓性脳梗塞の患者について –

加藤 貴也（学校法人国際医療福祉大学熱海病院 リハビリテーション部）

口述演題 43

2月6日(金) 13:35～14:25 第11会場(米子市文化ホール 2F 研修室)

装具・ロボット・リハ機器3

座長：平野 正樹（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

O43-1 不全脊髄損傷患者に対する片脚型ロボット支援歩行練習の応用 – 対麻痺患者における症例報告 –

鈴木 章仁（社会医療法人明陽会 第二成田記念病院 リハビリテーション室）

O43-2 脊柱管狭窄症術後の患者に対しmediVRカグラを使用したことで良質な運動学習が可能となり、短距離独歩自立に至った一症例

海老澤一美（社会医療法人 わかくさ竜間リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O43-3 mediVRカグラを用いた体幹・上肢近位部への介入が不全型頸髄損傷患者の上肢機能とADLに及ぼす影響

土橋 遥（医療法人銀門会 甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション部
作業療法科）

- O43-4** 延髄梗塞によって歩行障害を呈した患者に対する長下肢装具を用いた歩行速度改善の効果 ～シングルケーススタディでの検討～
吉田 和真（医療法人社団聖心会 湖街ホスピタル リハビリテーション科）
- O43-5** 高次脳機能障害とバランス機能障害に対するMixed Reality (MR) を用いた治療プログラムの効果 ―症例報告―
井上 紳也（一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団 神戸リハビリテーション病院）
- O43-6** 失語症を呈した脳卒中患者に対する振動触覚フィードバックが歩行能力に与える効果
佐藤 智仁（医療法人社団 苑田会ニューロリハビリテーション病院 リハビリテーション科）
- O43-7** 家族型ロボットLovotによる訪問リハビリ利用者・通所施設利用者への効果
三浦 良太（医療法人 みたき総合病院 みたき在宅ケアセンター 訪問リハビリ）

口述演題44

2月6日(金) 14:35～15:25 第11会場(米子市文化ホール 2F 研修室)

スタッフ教育・人材育成・働き方改革1

座長：飯沼 大地（花と森の東京病院）

- O44-1** 療法士の育成を目的とした病棟ADL訓練チェックリストの作成と活用
三浦恵里花（医療法人社団笑楽仁 芳珠記念病院 リハビリテーション室）
- O44-2** 新人早期退職の対応と教育体制の構築 ～ユニット制による多職種・多層指導の実践～
片山 直子（医療法人社団慈恵会 新須磨リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- O44-3** 「見守り時間」にアクティビティケアを定着させるための取り組み ～アンケートによるスタッフの意識調査～
小杉 薫（社会医療法人社団順心会 順心リハビリテーション病院 看護3課）
- O44-4** 回復期リハビリテーションA病院における身体的拘束最小化の取り組み ―サーバントリーダーシップ哲学を取り入れて―
松下 美紀（医療法人社団聖稜会 聖稜リハビリテーション病院 看護部）
- O44-5** 災害発生時に災害対策マニュアルに沿って正しく行動するための取り組み ～能登半島地震から学ぶこと～
水上 正樹（金沢医科大学氷見市民病院 リハビリテーション部）
- O44-6** 朝礼時5分間研修の効果に関する検討 ―職員の自己効力感、意欲、FIM理解度および患者FIMに及ぼす影響―
青戸 一将（社会医療法人昌林会 安来第一病院 リハビリテーション部）
- O44-7** 脳卒中後肩関節障害に対する肩関節装具の啓発活動が療法士の認識に及ぼす影響
平山 龍（巨樹の会 松戸リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

□述演題 45

2月6日(金) 15:35～16:25 第11会場(米子市文化ホール 2F 研修室)

スタッフ教育・人材育成・働き方改革2

座長：大坂 保子（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

O45-1 職員向けハラスメントに関する意識調査分析

山野 晶（社会医療法人河北医療財団 河北リハビリテーション病院 事務部
ソーシャルワーク科）

O45-2 当院リハビリテーション部のハラスメント対策について

安藤 正泰（医療法人聖仁会 西部総合病院 リハビリテーション部）

O45-3 回復期リハビリテーション病棟に従事する看護師のストレス要因の特徴

小川 遊大（NTT 東日本伊豆病院）

O45-4 回復期病棟における外国人看護師の育成体制の実態

石原 朱香（輝生会 初台リハビリテーション病院）

O45-5 回復期病棟における身体拘束の現状と身体拘束解除にむけての意識度調査

寺戸 雄星（医療法人生寿会 五条川リハビリテーション病院
回復期リハビリテーション病棟）

O45-6 「身体抑制ゼロ」を目指したICT×多職種協働セルケアシステム®の実践

石川 拓歩（社会医療法人石川記念会 HITO 病院 リハビリテーション部）

O45-7 回復期リハビリテーション病院リハビリテーション科におけるユニットリーダー教育の取り組み

岡田 友美（南医療生活協同組合 かなめ病院 リハビリテーション科）

□述演題 46

2月6日(金) 16:35～17:25 第11会場(米子市文化ホール 2F 研修室)

スタッフ教育・人材育成・働き方改革3

座長：佐藤 英雄（いわてリハビリテーションセンター）

O46-1 回復期リハビリテーション病棟看護師における身体拘束に対する意識調査

山口 剛（医療法人恕泉会 リハビリテーション病院 すこやかな杜 看護部）

O46-2 回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリ部と看護部の協働による係活動の取り組み

出島 慶之（社会医療法人仁医会 牧田リハビリテーション病院 リハビリテーション部
理学療法科）

O46-3 離職率を1/5に削減：回復期リハ病棟における高稼働・残業削減を両立した「持続可能な定着」戦略

高儀 隼（医療法人社団武蔵野会 牧野リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O46-4 医療倫理研修による療法士の倫理的理解と感受性の変化

平林 佑未（医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O46-5 作業療法士新人教育プログラムの再構築に向けたインタビュー分析 – 3年目教育の共起ネットワークからみる課題と展望 –

柴田 美雅（淳英会 おゆみの中央病院 リハビリテーション部／
学校法人敬心学園 日本リハビリテーション専門学校）

O46-6 療法士によるインシデント報告の現状と教育的課題

藤田 健斗（医療法人和光会 川島病院 リハビリテーション部）

O46-7 リハビリテーション専門職において個別ミーティングは心理的安全性・ワークエンゲージメントに関与するか？～背景としての自己主導的学習の準備性との関連性

岩本 紘樹（日高リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター）

MEMO

一般演題プログラム

口述演題

第2日目 2月7日(土)

プログラム 一般演題(口述演題) 第2日目

口述講演 47

2月7日(土) 13:10～14:00 第4会場(米子市文化ホール 1F イベントホール)

退院支援・家族支援・地域連携7

座長：中西まゆみ（東京湾岸リハビリテーション病院）

O47-1 当院回復期リハビリテーション病棟における入院時訪問指導の取り組み ～効果とセラピストに与える影響について～

新居 拓也（広島医療生活協同組合 広島共立病院 リハビリテーション科）

O47-2 復職を目標としたBAD脳梗塞後患者への退院支援 －看護師の精神的ケアと個別リハ介入の効果－

平田 綾希（医療法人社団南淡千遥会 神戸平成病院 4階病棟 回復期リハビリテーション）

O47-3 退院後訪問を通じた退院指導の課題と改善策の検討

石田 沙織（医療法人茜会 脳神経筋センターよしみず病院 回復期リハビリテーション病棟）

O47-4 回復期リハビリテーション病棟における退院支援の取り組み

朝倉 直之（医療法人社団輝生会 成城リハビリテーション病院 回復期支援部）

O47-5 計画的退院支援のための情報ツールの活用と実践への取り組み

坂口 夏樹（医療法人協和会 千里中央病院）

O47-6 回復期リハ病棟における脳血管疾患患者の回復過程を想定した関わりの重要性

飯田 勝利（医療法人真正会 霞ヶ関南病院）

O47-7 家屋評価を行い在宅復帰につなげた脳卒中片麻痺患者の1症例

森垣 佳栄（京都地域医療学際研究所がくさい病院 回復期リハビリテーション部）

口述講演 48

2月7日(土) 9:00～9:50 第5会場(米子コンベンションセンター 1F 情報プラザ)

退院支援・家族支援・地域連携8

座長：永見 茜（西広島リハビリテーション病院）

O48-1 回復期リハビリテーション病院退院後のリハビリ移行形態がFAIに与える影響 －訪問と通所リハビリテーション利用者の退院後及び退院3ヶ月後の比較検証－

田澤 繁之（医療法人社団銀緑会 みどり野リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O48-2 重症回復期患者の自宅退院を可能にするFIM effectivenessの疾患別基準値

藤原 侑士（医療法人社団苑田会 苑田第三病院 リハビリテーション科／
医療法人社団苑田会 苑田会東京脊椎脊髄病センター リハビリテーション科）

O48-3 退院前訪問指導を活用した在宅生活支援の現状と課題 －訪問指導実施後・1ヵ月後調査報告を用いた生活状況の検討－

吉田 瑞穂（医療法人銀門会 甲州リハビリテーション病院）

O48-4 回復期リハビリテーション病棟における退院後生活状況調査に基づく介護度別の生活変化の傾向と対策

河野奈緒美（社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O48-5 回復期リハビリテーション病棟における退院支援シート導入後の看護師の意識変化

玉城 恵実（医療法人タビック 宮里病院 回復期リハビリテーション病棟）

O48-6 認知機能が低下した高齢入院患者に対しての活動量向上戦略の検討

戸谷 百花（医療法人愛生館 小林記念病院 入院医療部）

O48-7 回復期リハビリテーション病棟管理栄養士の家屋調査参加による課題の抽出と退院支援の活用について

田中 月都（社会医療法人天神会 新古賀リハビリテーション病院みらい 栄養管理課）

口述講演 49

2月7日(土) 10:00～10:50 第5会場(米子コンベンションセンター 1F 情報プラザ)

退院支援・家族支援・地域連携9

座長：佐々尾博子（医療法人公仁会 姫路中央病院）

O49-1 入院時訪問導入による回復期リハビリテーション病棟の変化 -臨床アウトカムと意識調査を通して-

立石 圭佑（社会医療法人天神会 新古賀リハビリテーション病院みらい
リハビリテーション課）

O49-2 当院ソーシャルワーカーの倫理的ジレンマの実態と課題

高見 翔太（社会医療法人寿量会 熊本機能病院 医療連携部）

O49-3 回復期運動器疾患患者の自宅退院に関する日常生活動作と身体機能のスコアリングモデルの構築

藤澤 俊介（苑田第三病院 リハビリテーション部／
苑田会東京脊椎脊髄病センター リハビリテーション部）

O49-4 当院回復期リハビリテーション病棟における超高齢者の退院支援について

吉岡 洸太（医療法人協和会 第二協立病院 地域医療連携室）

O49-5 訪問リハビリテーション利用促進に向けた当院回復期リハビリテーション病棟での取り組み

町田 奨太（医療法人博仁会 志村大宮病院 茨城北西総合リハビリテーションセンター
リハビリテーション事業部）

O49-6 リハビリテーション専門職による介護予防活動への関わり

坂根 孝司（公益財団法人 丹後中央病院 リハビリテーション部）

O49-7 当院における入院時訪問指導の取り組み ～病棟看護師が実施することでの効果～

齋藤美菜子（医療法人社団哺育会 さがみりハビリテーション病院 看護部 第3病棟）

□述講演50

2月7日(土) 11:00～11:50 第5会場(米子コンベンションセンター 1F 情報プラザ)

退院支援・家族支援・地域連携10

座長：井後 雅之（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

O50-1 回復期病棟における呼吸サポートチームの役割 ～当院での活動の紹介と経過報告～

喜多 頼広（医療法人せいふう会 川西リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O50-2 椎体骨折患者の転帰先に関する因子の検討

小野 洸太（医療法人喬成会 花川病院 リハビリテーション部）

O50-3 良好な環境・個人因子を活かした多職種連携による脊髄梗塞後、完全対麻痺患者の在宅復帰支援

宇津宮大晟（社会医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院 リハビリテーション科）

O50-4 廃用症候群によるADL障害を認めたHTLV-1関連脊髄症患者に対する退院支援に難渋した症例

粕田 華琳（社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院 リハビリテーション部）

O50-5 訪問リハビリテーションにおける在宅支援の課題と工夫 ～目標設定の立て方と自主訓練支援の促し方に着目して～

飯塚 夏紀（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院
リハビリテーション技術部・作業療法士科）

O50-6 回復期リハビリテーション病棟運動器疾患患者の入院日数60日越えを予測する入院時情報の分析

渡邊 雄太（新久喜総合病院）

O50-7 ARCSモデルを用いた回復期リハビリスタッフの退院支援に対する認識調査

村越 夏未（医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院）

□述講演51

2月7日(土) 13:10～14:00 第5会場(米子コンベンションセンター 1F 情報プラザ)

ADL・IADL7

座長：永見 忠志（医療法人友誼会 皆生温泉病院）

O51-1 脳卒中後重度意識障害者における覚醒向上と基本動作の介助量軽減に向けた介入

権藤 綾葉（社会医療法人若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院
リハビリテーション部 リハビリテーション課）

O51-2 超高齢脳卒中患者の自宅退院を規定する要因の探索的検討

村松 永陽（医療法人清水会 脳神経リハビリ北大路病院 リハビリテーション部／
藤田医科大学病院 リハビリテーション部／
藤田医科大学大学院保健学研究科 博士後期課程）

O51-3 観念運動失行と手指失認を呈した脳出血患者に対して食事動作に着目した症例

市川 京（公益財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院 リハビリテーション課）

O51-4 当病棟スタッフの離床に関する意識調査の現状と課題について

阿部 公治（医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院 4A 病棟 回復期リハビリテーション病棟）

- O51-5** 重症僧帽弁閉鎖不全、左室駆出率35%の重症心不全を合併した心室細動を原因とする高齢者の蘇生後脳症および廃用症候群に対して、自宅退院が可能となった一例
柳 英清（医療法人社団苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院）
- O51-6** 採尿バックの設置位置の工夫が移乗動作獲得に寄与した症例ーリハビリテーションにおける環境調整の重要性ー
大西 琴葉（医療法人桂名会 木村病院 リハビリテーション部）
- O51-7** 懸架装置を用いた立位練習により高齢脊髄損傷患者の移乗動作が改善した症例
市川穂乃花（昭和医科大学 藤が丘リハビリテーション病院 統括リハビリテーション技術部）

口述講演52

2月7日(土) 9:00～9:50 第6会場(米子コンベンションセンター 6F 第7会議室)

高次脳機能・認知機能3

座長：畠山 亮太（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

- O52-1** 集中治療後症候群(PICS)に対する回復期リハビリテーションでの認知機能向上プログラムの有用性：一症例の検討
児島 範明（神戸リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- O52-2** 回復期病棟に入院している認知機能低下のある高齢患者の余暇活動における看護師の認識
中嶋 千尋（社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 4階東病棟）
- O52-3** 認知機能および高次脳機能障害への支援における多職種連携の課題と展望ーCBAの活用に向けた取り組みー
津奈木和貴（社会医療法人寿量会 熊本機能病院 総合リハビリテーション部作業療法課）
- O52-4** Pusher現象を呈した症例へのMixed Realityを用いたアプローチー自発的な非麻痺側への上肢到達運動課題の実施ー
東岡 悦久（医療法人共栄会 名手病院 リハビリテーション部）
- O52-5** 認知行動アセスメント(CBA)を活用した回復期リハビリテーションにおける高次脳機能障害の重症度可視化と予後の見通しについての検討
澤田隆太郎（医療法人清和会 平成とうや病院 リハビリテーション部）
- O52-6** 屋外外出練習における代償手段活用が自己認識に与える影響ー注意機能障害を呈した脳損傷者の一症例ー
宮川 友輔（医療法人社団和風会 橋本病院）
- O52-7** Balint症候群に対する回復期リハビリテーション病棟での取り組み<地域のための回復期第二報>
江川 義人（医療福祉生活協同組合おおさか 東大阪生協病院 リハビリテーション科）

□述講演53

2月7日(土) 10:00～10:50 第6会場(米子コンベンションセンター 6F 第7会議室)

チームアプローチ6

座長：牛島 寛文（医療法人共和会 介護老人保健施設 伸寿苑）

O53-1 回復期リハビリテーション病棟において、多職種で余暇時間の過ごし方を検討した取り組み

名和 優作（社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会リハビリテーション病院
リハビリテーション部）

O53-2 カンファレンスの質向上に向けた取り組み ～アンケートを用いた現状と今後の課題について～

桂川 真祐（医療法人香徳会 メイトウホスピタル 診療技術部 リハビリテーション科）

O53-3 当院回復期リハビリテーション病棟における退院支援チーム発足後の支援状況 ～スタッフアンケートから見えてきたチーム活動の今後の課題～

吉森 弓恵（医療法人天心堂 志田病院）

O53-4 回復期病棟における歯科衛生士の導入による変化と展望

石塚 弥里（IMS＜イムス＞グループ イムス板橋リハビリテーション病院
リハビリテーション科）

O53-5 ICF視点での多職種カンファレンスの実践と今後の課題

穴戸 美保（岡山リハビリテーション病院）

O53-6 当院の回復期リハビリテーション病棟におけるADL自立度向上の取り組み – ADLカンファレンスを通して –

作田 奈央（JA 静岡厚生連 遠州病院 リハビリテーション科）

O53-7 回復期リハビリテーション病棟における医療ソーシャルワーカーに期待する役割 ～多職種へのアンケート調査を基に～

牧野 結衣（医療法人銀門会 甲州リハビリテーション病院 患者支援センター）

□述講演54

2月7日(土) 11:00～11:50 第6会場(米子コンベンションセンター 6F 第7会議室)

チームアプローチ7

座長：岩熊 麻美（初台リハビリテーション病院）

O54-1 顎関節脱臼を放置しない！歯科衛生士がつなぐチームアプローチの実践 ～自己血注入療法が奏功した一例～

松下 利恵（医療法人堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院）

O54-2 サルコペニアを有する透析患者のリハビリ効果 ～回復期リハビリ病棟での検討～

長谷川和久（愛生館 小林記念病院 入院医療部）

O54-3 回復期リハビリテーション病棟における心臓リハビリテーションの初年度導入実績

大星 羽南（社会医療法人天神会 新古賀リハビリテーション病院みらい
リハビリテーション課）

O54-4 当院における廃用症候群患者の動向と、職員への業務影響調査

中村恵実子（医療法人ひまわり会 中洲八木病院 看護部）

O54-5 腰部脊柱管狭窄症術後の座位保持困難に対して理学療法評価を軸とした多職種連携アプローチが奏功した一症例

前田 翔梧（医療法人寿山会 法人リハビリテーション部）

O54-6 ナッジ理論を用いた自主トレーニングでの歩行回数増加の試み

荒木 佑介（溪仁会 札幌溪仁会リハビリテーション病院 リハビリテーション部 3病棟）

O54-7 ICF、ACPによる個別性を重視したチームアプローチで入院中に孫の運動会を観覧できたケース

小山内絢星（社会医療法人 高橋病院 リハビリテーション部）

口述講演55

2月7日(土) 13:10～14:00 第6会場(米子コンベンションセンター 6F 第7会議室)

チームアプローチ8

座長：福田 香織（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

O55-1 被殻出血を呈し動作獲得に難渋したが歩行見守りレベルで自宅退院となった若年症例

青海 愉香（医療法人和同会 宇部西リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O55-2 患者・家族の思いを支えるチームケア ～医療依存度の高い患者の退院支援～

岡川 雅美（社会医療法人創和会 しげい病院）

O55-3 行動制限解除に向けた介入方法とカンファレンス ～その人らしい役割の再獲得を多職種で目指した事例報告～

岩崎 真奈（医療法人銀緑会 みどり野リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O55-4 回復期リハビリテーション病棟における歯科専門職の介入が骨粗鬆症リエゾンサービス対象患者のADL改善に及ぼす影響

富田 勇真（社会医療法人頌徳会 日野病院）

O55-5 セルフケア困難患者の歯周病改善を目的とした口腔ケア指導の取り組み

妹尾 汐里（医療法人えいしん会 岸和田リハビリテーション病院
リハビリテーションセンター）

O55-6 外傷性脳損傷後の社会的行動障害を呈した一症例 ～多職種との取り組みについて～

米山 恭平（社会福祉法人 済生会東神奈川リハビリテーション病院 セラピスト部）

O55-7 みんなで納得アプローチ ～重症脳卒中患者の自宅退院に向けて～

松本 猛（医療法人社団和風会 橋本病院 回復期リハビリテーション病棟）

□述講演 56

2月7日(土) 9:00～9:50 第7会場(米子コンベンションセンター 5F 第4会議室)

業務改善・DX3、服薬管理・薬剤2

座長：田北 和代（京都大原記念病院）

O56-1 回復期脳卒中患者における簡便性と精度を考慮した退院時運動FIM予測モデルの開発

松田 涼（北海道科学大学保健医療学部 理学療法学科／弘前大学大学院保健学研究科）

O56-2 妊娠期の働き方 ～当院での取り組みについて～

金谷 隆範（医療法人溪仁会 札幌溪仁会リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O56-3 退院支援クリニカルパスの活用実態と課題分析 ～テキストマイニングを用いた改善アプローチ～

田中 卓（医療法人養和会 養和病院）

O56-4 リハビリスタッフから発信するDX化の実践と今後の展望

佐藤 翠（体育会 熱川温泉病院 リハビリテーション部・理学療法科）

O56-5 医薬品情報提供書を用いた内服薬理解への実態調査

今井 一輝（藤田医科大学七栗記念病院 医療技術部 薬剤課）

O56-6 脳梗塞後に高次脳機能障害を呈した一症例の内服自己管理に向けた取り組み

鈴木梨緒菜（一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院 臨床部）

O56-7 内服自己管理支援に向けて 内服自己管理フローチャートの作成を試みて

伊藤 幸美（社会医療法人杏嶺会 一宮西病院 看護部）

□述講演 57

2月7日(土) 10:00～10:50 第7会場(米子コンベンションセンター 5F 第4会議室)

回復期リハ認定看護師・セラマネの活動

座長：山中誠一郎（医療法人社団輝生会 回復期生活期支援部）

O57-1 離床時における車いすから椅子座位への移行判断に対する要素別の分析 ～多職種間で一致する視点と異なる視点～

細濱 恵造（平成医療福祉グループ 医療法人康生会 淀川平成病院 リハビリテーション部）

O57-2 介護保険訪問調査に関する業務負担軽減に向けて

岡留 和美（鹿児島徳洲会病院）

O57-3 回復期リハビリテーションワーキングチームの活動報告 ー家族教室を通してー

黒部 綾香（医療法人銀門会 甲州リハビリテーション病院 看護部）

O57-4 回復期セラピストマネジャー取得後の取り組みについて

高井 浩之（社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 回復期リハ科）

O57-5 セラマネ活動報告 ～セラピスト10カ条を活用した院内全体のセラピストの質の向上に向けた取り組み～

兵頭 拓巳（千寿会 道後温泉病院 リハビリテーション科）

O57-6 口腔ケアの徹底と摂食機能療法の取り組み ～口から入る脳刺激を日常生活リハビリとして継続するために～

田中 睦（社会医療法人友志会 リハビリテーション花の舎病院 看護部）

O57-7 若手療法士による転倒インシデントの特徴と教育的課題の検討

木下 崇美（医療法人社団健育会 竹川病院 リハビリテーション部）

□述講演 58

2月7日(土) 11:00～11:50 第7会場(米子コンベンションセンター 5F 第4会議室)

就労・就学支援2、自動車運転2

座長：小林 利行（札幌溪仁会リハビリテーション病院）

O58-1 回復期リハビリテーション病棟における高次脳機能障害復職支援事例

清水 杜和（医療法人恕泉会 リハビリテーション病院すこやかな杜）

O58-2 回復期リハビリテーション病棟入院中より多職種で復職支援を行い就労定着に至った高次脳機能障害を呈した自営業の1例

高橋 誠貴（千葉県千葉リハビリテーションセンター リハビリテーション治療部
成人療法室 言語聴覚科）

O58-3 回復期リハビリテーション病棟において重度失語症と右片麻痺を呈した患者への就労支援 ～職場との連携、職場調査を通して～

清水 慎吾（社会医療法人財団池友会 香椎丘リハビリテーション病院
リハビリテーション科）

O58-4 左被殻出血後遺症により失語症を呈した症例に対する復職支援について

赤土 令（社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院 リハ技術部・言語療法科）

O58-5 当院における脳血管疾患患者における運転再開支援の取り組み

村井 智子（医療法人天心堂 志田病院）

O58-6 ドライビングシミュレーターの街並み走行と実車走行を評価するにあたり、共通の評価用紙を作成し用いることで比較したことによる一考察

今井 裕人（社会福祉法人 錦海リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O58-7 過去5年間で運転再開した脳卒中患者129名の追跡調査から、当院の自動車運転評価の妥当性を検証する

藤木 彰人（医療法人社団明芳会 イムス佐原リハビリテーション病院
リハビリテーション科）

□述講演 59

2月7日(土) 13:10～14:10 第7会場(米子コンベンションセンター 5F 第4会議室)

病棟マネジメント2

座長：小松 雅来（養和病院）

O59-1 退院進捗カンファレンス導入による病床稼働改善と施設基準管理への取り組み

梅谷 陽（医療法人博愛会 額田病院 事務部・経営管理課）

O59-2 超高齢社会における病棟運用の課題 ～高齢者が安心して地域に戻るために～

名島さとみ（医療法人社団曙会 シムラ病院 看護部・回復期リハビリテーション病棟）

O59-3 回復期リハビリテーション病棟における「看護・介護10か条」を用いた看護師のケア実践に対する意識変容

長野 匡洋（一般財団法人 京都地域医療学際研究所 がくさい病院）

O59-4 セラピスト10箇条チェックリストを用いたアンケート結果から生活面へのセラピスト介入について

田中 和也（JCHO 宇和島病院）

O59-5 重症患者受け入れ1割増の影響【第二報】

下村 彰宏（輝生会 初台リハビリテーション病院 回復期支援部 4階Aチーム）

O59-6 多職種連携の強化と働きやすい職場作りを目指して ～組織体制変更に伴う業務改善～

江口 健次（医療法人社団大谷会 島の病院おおたに）

O59-7 回復期リハビリテーション病棟における病棟連携向上に対する取り組みと効果の検討 ～遂行共起ネットワークを用いた解析～

馬橋 啓介（医療法人社団苑田会 苑田第三病院 リハビリテーション科／
苑田会東京脊椎脊髄病センター リハビリテーション科）

O59-8 回復期リハビリテーション病棟における排泄ケア研究の変遷と俯瞰的把握

西山 里枝（聖カタリナ大学 看護学部 看護学科）

□述講演60

2月7日(土) 9:00～9:50 第8会場(米子コンベンションセンター 5F 第5会議室)

ADL・IADL8

座長：安福 偉子（社会医療法人大道会 森之宮病院）

O60-1 頸髄損傷患者における痙縮管理と環境調整による生活再構築の試みーボツリヌス治療と作業療法的環境調整による在宅復帰の支援ー

大原 彩花（川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部・作業療学科）

O60-2 透析治療の有無が回復期リハビリテーション治療におけるADL機能の改善に与える影響について

佐々木 麗（医療法人友愛会 盛岡友愛病院 リハビリテーション技術部）

O60-3 運動器疾患患者における退院後ADL能力の変化とその関連要因の検討

下藺 涼平（社会医療法人慈恵会 八反丸リハビリテーション病院 リハケア部）

O60-4 回復期脳血管疾患患者における短下肢装具着脱自立・非自立患者の退院時能力の比較

小松 史（医療法人社団苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院
リハビリテーション部）

O60-5 当院回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折術後患者の下衣更衣動作獲得に関連する因子の検討

岡部 勇太（医療法人倚山会 田岡病院 リハビリテーション科）

O60-6 非透析患者との比較からみた回復期リハにおける血液透析患者のリハ効果と課題

桂川 空音（医療法人生寿会 五条川リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O60-7 強い痺れと感覚障害が残存した頸椎症性脊髄症の術後症例に対する作業療法の経験

岡本 奈々（医療法人尚和会 宝塚リハビリテーション病院）

口述講演 61

2月7日（土） 10:00～10:50 第8会場（米子コンベンションセンター 5F 第5会議室）

ADL・IADL9

座長：小松 久代（鶏飼リハビリテーション病院）

O61-1 認知機能に適した段階的セルフケアトレーニングが奏功した高齢心不全患者の一例

熊田 哲也（神戸リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O61-2 回復期病棟において心疾患患者に対する、心臓リハビリテーションの有効性

井川 智士（IMS グループ イムス佐原リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O61-3 回復期リハビリテーション病棟に入院する廃用症候群と呼吸器疾患患者のADL改善の要因－看護実践の向上と多職種連携の促進を目指して－

根岸亜由美（前橋赤十字病院）

O61-4 決定木分析を用いた脊椎椎体骨折患者の自宅退院の可否に影響を与える要因の基準値の作成

古谷 英孝（苑田第三病院 リハビリテーション部／苑田会東京脊椎脊髄病センター
リハビリテーション部／獨協医科大学大学院 先端外科学）

O61-5 回復期運動器疾患患者における受傷前と退院時ADL・IADLの比較

宮園真太郎（慈圭会 八反丸リハビリテーション病院）

O61-6 転倒恐怖感に対し認知行動療法的アプローチが有用であった大腿骨頸部骨折術後の一例

辻谷 匠（医療法人鴻池会 秋津鴻池病院 リハビリテーション部）

O61-7 環境調整と自立支援用具の活用により在宅復帰を実現した重度頸髄損傷の一症例

礪山ひなた（川崎医科大学附属病院）

口述講演 62

2月7日（土） 11:00～11:50 第8会場（米子コンベンションセンター 5F 第5会議室）

歩行・移動5

座長：廣山 貴之（米子東病院）

O62-1 心不全と間質性肺炎を呈した患者に対して、CPX未実施下での分割した有酸素運動を実施し耐久性改善と歩行獲得が図れた1症例

高倉 史也（一般社団法人巨樹の会 宇都宮リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O62-2 骨端部の突出を認めた高齢下腿切断者に対してPTB下腿義足を作製し歩行獲得と自宅退院が可能となった一症例

林 愛菜（社会医療法人創和会 しげい病院 リハビリテーション部）

- O62-3** ダッシュボード損傷後の重度骨盤骨折を呈した一例早期独歩獲得に向けて完全免荷期間中に患部外トレーニングを行った介入
児玉寿希也（公益財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院 リハビリテーション課）
- O62-4** 当院回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折患者に対するFunctional Balance Scaleの活用に関する検討：歩行自立者の下位項目に着目して
三隅 優太（医療法人 所沢ロイヤル病院 リハビリテーション科）
- O62-5** Hardinge法による人工骨頭挿入術後患者における感覚強度の神経筋電気刺激が術後身体機能回復に与える影響－3症例の経過からの考察－
安積 裕二（医療法人寿山会 喜馬病院リハビリテーションセンター）
- O62-6** 回復期リハビリテーション病棟の大腿骨近位部骨折における2次性骨折患者の身体的特徴と要因に関する研究
上田 稜祐（医療法人社団アールアンドオー 静清リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- O62-7** 目標設定に難渋したが歩行獲得に至った特発性脊髄硬膜外血腫術後の一症例
川上 真暉（医療法人桂名会木村病院）

□述講演63

2月7日(土) 13:10～14:00 第8会場(米子コンベンションセンター 5F 第5会議室)

歩行・移動6

座長：上田 正樹（松江市立病院）

- O63-1** 装具調整で外側型弾発股による歩行時痛軽減を図り、歩行獲得を目指した脳卒中症例
大和 泰葉（社会福祉法人 済生会東神奈川リハビリテーション病院 セラピスト部）
- O63-2** 脳卒中片麻痺患者の二動作歩行獲得には発症1週後の麻痺側下肢運動機能が関連する
小嶋 由己（川崎医科大学附属病院 リハビリテーションセンター）
- O63-3** 回復期脳卒中患者における歩行修正自立の予測因子：認知機能の重要性
尾頭 和樹（IMS グループ 医療法人三愛会 埼玉みさと総合リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- O63-4** 回復期リハビリテーション病棟における退院時歩行自立予測：入院時および1か月時点データを用いた決定木モデルの構築と臨床的有用性の検証
佐藤 竜成（社会福祉法人東京有隣会 有隣病院 リハビリテーション室）
- O63-5** デュシェンヌ歩行を認めた症例に対し本人の主訴の改善を目指した介入 ～左右バランスに対する下部交差性症候群の影響に着目して～
岩館 翼（IMS〈イムス〉グループ イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院）
- O63-6** 大腿骨近位部骨折患者における回復期リハビリテーション病棟入棟時の受傷側および非受傷側の下肢筋力と退棟時歩行自立度の関係
西 義也（社会医療法人信愛会 交野病院 リハビリテーション科）
- O63-7** ネグレクトと知的障害を背景に持つ下肢切断患者の義足歩行獲得過程
大西 瑞希（医療法人社団六心会 恒生病院 回復期リハビリテーション課）

QOL・心理 2

座長：酒井 太郎（医療法人真正会 霞ヶ関南病院）

O64-1 脳卒中発症後に眼球運動障害を呈した症例に対する介入 ～アクティビティを取り入れたサッケード課題の効果～

立石 将大（社会医療法人昌林会 安来第一病院 リハビリテーション部）

O64-2 足浴による温熱療法が有効であった両側足関節術後の一症例 ～可動域とSAFE-Qの改善を通して～

森 拓人（医療法人社団和風会 橋本病院 リハビリテーション部）

O64-3 回復期リハビリテーションによってTHA術後患者の健康関連QOLは向上するのか

有山 喬（公益財団法人 天理よろづ相談所病院白川分院 リハビリテーション部）

O64-4 畑作業再開を目標としたフォームパット上バランス訓練の短期効果：症例報告岡本 征真（社会法人三車会 貴志川リハビリテーション病院 リハビリテーション部
理学療法科）**O64-5 多病棟連携型院内レクリエーションの実施報告：集団活動の多様性および多職種連携への展望**

秋山 莉乃（医療法人横浜平成会 平成横浜病院 リハビリテーション科）

O64-6 回復期リハビリテーション病棟看護師による巻き爪ケアの有用性

土屋ひろみ（医療法人社団健育会 ねりま健育会病院 看護部 EAST 病棟）

O64-7 フレイルを有することが回復期リハビリテーション病棟入院患者における入院時心身機能に与える影響吉田 一樹（国際医療福祉大学 塩谷病院 リハビリテーション室／
国際医療福祉大学大学院 博士課程 医療福祉学研究科 保健医療学専攻）

□述講演 65

2月7日(土) 10:00～10:50 第9会場(米子コンベンションセンター 3F 第2会議室)

排泄 2

座長：高橋 佑輔（京都大原記念病院）

O65-1 脊髄損傷患者の排尿セルフケアに関する障害受容支援

阪田里佳子（東京都リハビリテーション病院 看護部）

O65-2 頸髄不全損傷患者の排便後臀部清拭動作獲得に向けた動作パターンの検討

吉田 良太（特定医療法人社団三光会 誠愛リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O65-3 当院の排尿ケアチームにおける排尿自立を目指した取り組みの成果

坂田 理江（医療法人田中会 武蔵ヶ丘病院）

O65-4 排尿ケアチームの活動と今後の課題

西森麻衣子（社会医療法人平成醫塾 苫小牧東病院）

- O65-5 回復期病棟で働く介護福祉士が実践する退院支援を意識した排泄ケアについて ～在宅復帰後の生活の質の向上と介護負担軽減を目指して～**
本岡 秀康（医療法人社団輝生会 船橋市立リハビリテーション病院 回復期支援部 南2階）
- O65-6 回復期リハビリテーション病棟の脳卒中患者における「排泄自立予測モデル」の外的妥当性**
佐川 未怜（医療法人和同会 宇部西リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- O65-7 三次元振動マシンにより尿意を再獲得した脳血管疾患一例**
川井 惇平（社会医療法人 ONEFLAG 牧リハビリテーション病院 リハビリテーション部 作業療法科）

□述講演 66

2月7日(土) 11:00～11:50 第9会場(米子コンベンションセンター 3F 第2会議室)

医療安全・医学的管理 4

座長：上斗米律子（いわてリハビリテーションセンター）

- O66-1 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌を保菌する脳卒中片麻痺患者に対する感染対策と自宅退院に向けた支援**
宮瀬 恋奈（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部）
- O66-2 転倒予防とケアの質向上への取り組み ～転倒率にあらわれない成果～**
園田 恭子（医療法人三井会 神代病院 医療安全管理部）
- O66-3 入院時FIMスコアによる転倒リスク層別化と転倒時機能変化の分析**
三浦 朋幸（社会医療法人明陽会 第二成田記念病院 リハビリテーション科）
- O66-4 入院時のサルコペニア重症度分類と複数回転倒との関連性**
足立 睦未（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院 リハビリテーション技術部）
- O66-5 リハビリテーション中の転倒・転落予防に向けた危険予知トレーニングの効果**
松本 将年（医療法人医仁会 さくら総合病院）
- O66-6 回復期リハビリテーション病棟における転倒防止のためのAIカメラの活用紹介**
中川 広夢（医療法人桂山会 鶴飼リハビリテーション病院 3階病棟）
- O66-7 ヒヤリハット提出“しない人・する人”の壁を越えて ～スタッフの意識を変えた多面的なアプローチ～**
竹内 啓二（社会福祉法人恩賜財団済生会支部 三重県済生会明和病院 リハビリテーション技術部）

□述講演 67

2月7日(土) 13:10~14:00 第9会場(米子コンベンションセンター 3F 第2会議室)

医療安全・医学的管理5

座長：上原 和也（川崎医科大学附属病院）

O67-1 回復期リハ学会 抄録当院回復期病棟での転倒予防に対する取り組み ～ベッドサイド ADL評価表の導入について～

廣田 直也（西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院）

O67-2 転倒転落予防対策の見直しと病棟での取り組み 療養環境カンファレンスシートを用いた病室ラウンドの実施

米澤 泉（登美ヶ丘リハビリテーション病院 看護部）

O67-3 身体的拘束最小化への取り組み ～「見守り隊」を配置したことの効果～

森 純子（医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院 看護部）

O67-4 センサー終了アセスメントシートの導入による離床センサー早期除去に向けた職員の意識変化

尾川真梨菜（医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション病院）

O67-5 回復期リハビリテーション病棟における身体拘束最小化のための多職種チーム介入と定量的な成果

清水 まみ（医療法人鉄蕉会 亀田リハビリテーション病院 リハビリテーション室）

O67-6 回復期リハビリテーション病棟における急性期転棟リスク因子の特定 - FIMと既往歴に基づく予測モデルの構築 -

佐野 洋輔（社会医療法人社団東京巨樹の会 東京品川病院 リハビリテーション科）

O67-7 基本動作・歩行動作に関するOT研修会の実施と転倒予防・医療安全における意識変容について

岡田 雄大（医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院 リハビリテーション科）

□述講演 68

2月7日(土) 9:00~9:50 第10会場(米子コンベンションセンター 3F 第3会議室)

摂食嚥下・栄養3

座長：源間 隆雄（札幌麻生脳神経外科病院）

O68-1 食事摂取量と食形態の関連について ～“食べること”もリハ！自宅退院を目指して～

藤寄 季哉（医療法人天心堂 志田病院）

O68-2 法人内の言語聴覚士の連携によりお楽しみ経口摂取を継続できた一例

山内 亜美（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院
リハビリテーション技術部 言語聴覚士科）

O68-3 回復期リハビリテーション病院に入院する低栄養患者の退院指導の推進に向けて

伊藤 里帆（医療法人珪山会 鵜飼リハビリテーション病院 看護部）

O68-4 回復期リハビリテーション病棟入院患者の栄養状態の変化 ～NSTによる食事ラウンドを試みて～

石田美奈子（一般社団法人巨樹の会 千葉みなとりリハビリテーション病院 看護部）

O68-5 回復期脳卒中患者における入退院時の栄養指標の変化とFIM運動利得の関連

岩熊 麻美（医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院 栄養部）

O68-6 演題取り下げ

O68-7 下痢症状に難渋した患者に消化態栄養剤を使用した1例

高木 彩乃（社会医療法人 しげい病院 栄養管理部）

口述講演 69

2月7日(土) 10:00～10:50 第10会場(米子コンベンションセンター 3F 第3会議室)

摂食嚥下・栄養 4

座長：土中 伸樹（養和病院）

O69-1 定期的な身体機能・栄養評価結果を本人と共有することがADL改善に寄与した発症後長期経過を辿る重度廃用症候群例

新井 恭兵（医療法人芙蓉会 五井病院 リハビリテーション科）

O69-2 Global Leadership Initiative on Malnutrition基準に基づく低栄養評価と栄養介入の効果 ～大腿骨近位部骨折患者における筋肉量回復と歩行自立度との関連からの検討～

山本 敏光（平成博愛会 世田谷記念病院 リハビリテーション科）

O69-3 経口摂取が困難となったパーキンソン病を有する大腿骨転子部骨折の一症例 –理学療法士の役割の変化–

平山 結衣（社会医療法人 ONEFLAG 牧リハビリテーション病院 リハビリテーション部 理学療法科）

O69-4 大腿骨近位部骨折疾患におけるサルコペニア患者のBCAA配合の栄養補助食品摂取による影響の調査

鈴木 洋嵩（医療法人社団銀緑会 みどり野リハビリテーション病院）

O69-5 栄養介入を含む包括的リハビリテーションが有効であったフィッシャー症候群の一例

田村 奈美（医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院）

O69-6 当院回復期リハビリテーション病棟患者のSMI変化に影響する要因

高橋 広樹（医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院 リハビリテーション部）

O69-7 回復期リハビリテーション病棟における低栄養患者とADLについて –重度低栄養患者の栄養状態とFIMの相関関係–

松下 佳貴（愛知県済生会リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

口述講演 70

2月7日(土) 11:00～11:50 第10会場(米子コンベンションセンター 3F 第3会議室)

装具・ロボット・リハ機器 4

座長：藍田 翔太（養和病院）

O70-1 低頻度TENSによる膝関節可動域改善の検討

西田 朋史（医療法人社団苑田会 花はたりリハビリテーション病院 リハビリテーション科）

- O70-2** 術後2回の離開を呈した膝蓋骨粉碎骨折患者の問題点に合わせ装具作製を行った一例
佐々木 議浩（社会医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院 リハビリテーション科）
- O70-3** 下肢の感覚障害・可動域制限と視覚障害を併存した左大腿骨転子部骨折患者への装具着脱自立支援の工夫
福島 賢奈（医療法人尚和会 宝塚リハビリテーション病院 療法部）
- O70-4** 大動脈解離術後の脊髄梗塞と脳梗塞を合併した症例に対する電気刺激療法によって体幹機能が改善した症例
藤井 一真（神戸リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- O70-5** 当院でのmediVRカグラの運用について
廣瀬 美紅（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院 リハビリテーション技術部）
- O70-6** 装具手帳導入による装具使用管理に対する有用性の検討
福永 健人（社会医療法人財団大和会 武蔵村山病院 リハビリテーション科）
- O70-7** 新設した回復期病棟での装具療法普及への取り組み
渡邊 光（医療法人社団聖心会 湖街ホスピタル リハビリテーション科）

口述講演71

2月7日(土) 13:10～14:00 第10会場(米子コンベンションセンター 3F 第3会議室)

装具・ロボット・リハ機器5

座長：吉野 清実（米子東病院）

- O71-1** 長下肢装具歩行における後方介助技術の客観的評価 -膝継手屈曲モーメント波形の解析-
森井 麻貴（宝塚リハビリテーション病院 療法部）
- O71-2** ウェルウォークWW-1000による視覚フィードバックと安定した歩行環境により、注意障害患者の動作能力が向上した一症例
西井 英輝（医療法人伯鳳会 明石リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- O71-3** 重度右片麻痺患者に対し、天井走行式免荷装置を使用した介入により基本動作及び移乗動作の介助量軽減を認めた脳出血症例
野崎 尚也（済生会東神奈川リハビリテーション病院 セラピスト部）
- O71-4** 脳卒中症例の歩行獲得における装具の一考察 ～短下肢装具へ移行可能な時期における長下肢装具使用の意義～
畑中 宏遥（イムス東京葛飾総合病院）
- O71-5** 当院脳卒中患者の装具作成者と装具未作成者の運動FIM利得と歩行FIM利得の比較から示唆される装具早期介入の必要性
簗野 博成（医療法人社団武蔵野会 牧野リハビリテーション病院 リハビリテーション科）
- O71-6** 歩行補助ロボット使用での歩行練習における下腿筋活動変化：両側人工膝関節全置換術後患者一例
松田 直也（世田谷リハビリテーション病院）

O71-7 ロボット歩行トレーニングが有用であった脊髄硬膜内髄外腫瘍の上肢腫の治療後による一症例

山田 大喜（医療法人社団巨樹の会 原宿リハビリテーション病院 医療技術部
リハビリテーション科目）

口述講演72

2月7日(土) 9:00～9:50 第11会場(米子市文化ホール 2F 研修室)

質の評価・アウトカム評価3

座長：遠藤 美紀（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

O72-1 回復期リハビリテーション病棟における脊椎・骨盤疾患患者のFIM運動利得の予測式

稲生 侑汰（医療法人社団聖稜会 聖稜リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O72-2 回復期リハビリテーション病院における運動器疾患患者の入院1か月後の予測 Functional Independence Measureに関連する因子の検討

松下 和樹（医療法人社団巨樹の会 江東リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O72-3 大腿骨近位部骨折患者におけるFIM効率と自宅復帰における社会的脆弱性の関連

後藤 康平（一般財団法人岸和田農友協会 岸和田平成病院）

O72-4 当院回復期リハビリテーション病棟の短期集中リハビリテーションの効果について

萩野 顕（武蔵村山病院）

O72-5 入院中の個別リハビリテーション以外の時間の活動量と身体機能の関係

東 真彦（医療法人財団聖十字会 西日本病院 総合リハビリテーション部）

O72-6 当院における脳血管疾患に対する理学療法士の機能的自立度評価の予測能力の現状について

小川 洋介（医療法人社団巨樹の会 小金井リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O72-7 看護師によるせん妄のリスク評価と看護計画立案の実態に関する後ろ向き調査

西山 棕香（社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会大阪北リハビリテーション病院
看護部）

口述講演73

2月7日(土) 10:00～10:50 第11会場(米子市文化ホール 2F 研修室)

スタッフ教育・人材育成・働き方改革4

座長：平林 克得（医療法人信和会和田病院）

O73-1 リハ職員の説明力向上を目的とした教育的介入の効果と意識変化の検討

勝野 健太（社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 回復期リハ科）

O73-2 職員満足度調査を通じたリハビリテーション部署の職場改善活動

丸山 真範（医療法人三星会 茨城リハビリテーション病院）

O73-3 リハビリテーション部における若手職員に対する座談会の活動報告について

鉦谷 知也（医療法人珪山会 鶴飼リハビリテーション病院）

O73-4 リハビリテーション科におけるラインケア研修の実施とアンケート結果の考察

中垣 友徳（医療法人社団東光会 戸田中央リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

O73-5 多職種合同グループワークを取り入れた新人職員教育の効果

竹腰加奈子（藤田医科大学七栗記念病院 看護部）

O73-6 リハビリテーション病院における多職種合同倫理研修の実践と課題

中島 公子（社会医療法人財団白十字会 白十字リハビリテーション病院）

O73-7 回復期リハビリテーション病棟における離床コーディネーター研修の企画・実施から見た、今後の離床促進に向けた離床促進チームとしての課題

柳本 麻里（平成医療福祉グループ 離床促進チーム／
医療法人平成博愛会 徳島平成病院 リハビリテーション部）

口述講演 74

2月7日(土) 11:00～11:50 第11会場(米子市文化ホール 2F 研修室)

スタッフ教育・人材育成・働き方改革5

座長：河崎 雄司（安来第一病院）

O74-1 当院回復期リハビリテーション病棟における義足リハビリテーション教育の実践報告

永橋 愛（JR 東京総合病院 リハビリテーション科）

O74-2 回復期リハビリテーション病棟における療法士の運動負荷量の適正化に向けての取り組み ～活動量計を用いた運動負荷量の可視化と今後の対策～

小林 翔奈（社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

O74-3 第2新卒看護師の当院の取り組み ～当院の攻めのリハ医療に魅力とやりがいと見出し定着と活躍した症例～

佐藤 裕太（医療法人社団健育会 ねりま健育会病院 看護部）

O74-4 当法人介護福祉士が掲げる自職種像 ～介護のスペシャリストを目指して～

磯部香奈子（医療法人社団輝生会 船橋市立リハビリテーション病院 回復期支援部）

O74-5 eラーニングを活用した屋外急変シミュレーションの取り組み

日域 佳（西広島リハビリテーション病院）

O74-6 eNPSにおける批判者の職場不満構造の探索 –主成分分析による因子抽出–

大塚 貴司（医療法人社団苑田会 苑田会ニューロリハビリテーション病院
リハビリテーション科）

O74-7 回復期リハビリテーション病棟における療法士のワーク・エンゲージメントと心理的安全性の関連 –職種横断的な役割別比較を通じた組織文化の特徴–

小林 和樹（医療法人社団健育会 竹川病院 リハビリテーション部）

スタッフ教育・人材育成・働き方改革6

座長：藤井 春美（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

O75-1 外国人技能実習生の安全な技術習得に向けた労働環境の整備

木村 高士（医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院 介護部）

O75-2 職業性ストレスと相対的プレゼンティーズムの関係 ～回復期病棟のリハビリテーション職種での検討～

逆井 健太（IMS＜イムス＞グループ イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院）

O75-3 相談員の支援力向上を目指した症例カンファレンスの導入 ～地域医療連携室における学び合いの仕組みづくり～

谷村 睦美（医療法人社団南淡千遙会 神戸平成病院）

O75-4 業務時間調査に基づく業務環境の改善に向けた取り組み

豊島 晶（医療法人清仁会 洛西シミズ病院 リハビリテーション科）

O75-5 PT5 か条チェックリストを用いたアンケート調査による当院理学療法士の実態調査

瀬沼 遼平（医療法人社団健育会 竹川病院 リハビリテーション部）

O75-6 当法人におけるリハ職離職の現状ーコロナ禍前後の比較ー

池田 吉隆（医療法人社団輝生会 本部 回復期生活期支援部）

O75-7 演題取り下げ

**一般演題プログラム
ポスター演題
第1日目 2月6日(金)**

プログラム 一般演題 (ポスター演題) 第1日目

ポスター会場 (米子コンベンションセンター 2F 国際会議室)

ポスター演題1

2月6日(金) 10:25～11:25

ADL・IADL1

座長：大森 恵子 (社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院)

P1-1 重症患者の意思に着目した内的動機づけの強化は、食事の介助量軽減に影響を与えるのか

小杉 茜 (社会医療法人千秋会 井野口病院 リハビリテーション科)

P1-2 重度のpusher症状を呈した脳卒中患者に対し、非麻痺側下肢の能動的動作がPusher症状改善に働いた一例

西澤 佳佑 (医療法人社団苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院
リハビリテーション部)

P1-3 入院1週間時点の脳卒中患者の身体機能から回復期病棟退棟時のFIM運動項目を予測する ～急性期・回復期病棟を有する当院の特徴を活かした取り組み～

中谷 友哉 (社会医療法人三栄会 ツカザキ病院)

P1-4 心大血管疾患患者を対象とした回復期リハビリテーション病棟におけるFIM改善効果の後方視的検討

川瀬 智隆 (市立長浜病院 リハビリテーション技術科)

P1-5 回復期脳卒中患者における退院時FIM問題解決6点以上の予測モデルの構築と検証

山田 美穂 (医療法人社団巨樹の会 原宿リハビリテーション病院 医療技術部
リハビリテーション科)

P1-6 ACEを用いて目標共有することでIADL動作の介入に繋がり自宅退院が可能となった一事例

井上 葵 (医療法人社団明芳会 イムス板橋リハビリテーション病院)

P1-7 関節リウマチによる関節痛に対して、電気療法、動作指導を重点に介入し自宅復帰した症例

澤江 春海 (医療法人ハートフル アマノ病院 リハビリテーション部)

ポスター演題2

2月6日(金) 11:25～12:15

ADL・IADL2

座長：山本 未来 (社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院)

P2-1 調理動作獲得を目指した注意・遂行・記憶障害への段階的介入

志茂ことみ (医療法人寿山会 喜馬病院 リハビリテーションセンター)

- P2-2 難治性褥瘡を呈したECMO後脳梗塞例における炎症性低栄養からの回復過程**
鈴木 陸也（医療法人社団苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院
リハビリテーション部）
- P2-3 回復期脳卒中患者のADL改善経過の調査－クリニカルパスの修正に向けて－**
浦田 恵（恩賜財団済生会 石川県済生会金沢病院 リハビリテーション部）
- P2-4 疾患別のBBSスコアの変化とFIM改善への影響－回復期病棟における脳卒中、運動器、廃用症候群、心疾患患者の比較－**
神澤 貴士（医療法人博光会 御幸病院 リハビリテーション科）
- P2-5 多職種連携による段階的更衣動作自立支援プログラムにおける実践報告**
増村 海吏（一般社団法人 福井総合病院 作業療法室）
- P2-6 “浴槽に浸かりたい”という願いを実現した脊髄腫瘍患者の一例－他職種連携による支援を通して－**
山本 大稀（社会医療法人柏葉会 札幌柏葉会病院 リハビリテーション科／
札幌医科大学大学院保健医療学研究科 博士課程後期 作業療法学分野
活動能力障害学領域）
- P2-7 当院回復期病棟における退院時予測FIMの検証**
喜舎場洋和（沖縄メディカル病院）

ポスター演題3

2月6日(金) 13:35～14:25

医療安全・医学的管理1

座長：乙黒 竜一（初台リハビリテーション病院）

- P3-1 身体拘束の解除に対する取り組み**
赤木 真衣（川崎医科大学附属病院 特定機能病院リハビリテーション病棟）
- P3-2 回復期リハビリテーション病棟における、療法士の早出勤務と転倒転落の関係について**
山根 弘嗣（医療法人雄心会 函館新都市病院 リハビリテーション科）
- P3-3 当院回復期リハビリテーション病棟における身体的拘束の実態について**
伊藤 正典（医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 診療技術部リハビリテーション科）
- P3-4 回復期リハビリテーション病棟における病棟内歩行自立基準運用後の転倒に関する後方視的調査**
森 義貴（社会医療法人 熊本機能病院 総合リハビリテーション部 理学療法課）
- P3-5 療法士の臨床場面における手指衛生タイミングの遵守状況：5 Momentsに基づくアンケート調査**
佐藤 孝嗣（医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- P3-6 脳卒中を中心とした回復期リハビリテーション病棟における車椅子クッションの現状と課題**
石井 義之（医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院 リハビリテーションセンター
理学療法科）

P3-7 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者のFIM点数と転倒発生要因の検討

上斗米律子（公益財団法人 いわてリハビリテーションセンター）

ポスター演題4

2月6日(金) 14:35～15:25

医療安全・医学的管理2

座長：下野 心（いわてリハビリテーションセンター）

P4-1 回復期リハビリテーション病棟で繰り返し転倒する高次脳機能障害患者の転倒予防策の検討

岩澤美佐緒（市立御前崎総合病院 回復期リハビリテーション病棟）

P4-2 ADL情報共有シートを活用した転倒転落リスクの評価の現状と課題

齋藤 史佳（医療法人慈光会 甲府城南病院 リハビリテーション部）

P4-3 回復期リハビリテーション病棟における身体拘束最小化のための取り組み ～職員研修と組織的取り組みの効果～

岸本 綾子（医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院）

P4-4 当院における転倒・危険行動防止を目的とした目印の離脱に対する予測因子の検討

山田 亮佳（医療法人社団巨樹の会 小金井リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

P4-5 重大事故を防ぐために ～ヒヤリハット報告件数増加への取り組み～

小島 貴浩（医療法人三愛会 IMS グループ埼玉みさと総合リハビリテーション病院
リハビリテーション部）

P4-6 病棟内自立度表示カードの詳細化が転倒件数およびスタッフの認識に及ぼす影響

吉岡 愛香（清仁会 洛西シミズ病院 リハビリテーション科）

P4-7 シーティング専任理学療法士の介入は臀部の褥瘡発生率を減少する

四本 慎也（医療法人社団東光会 戸田中央リハビリテーション病院
リハビリテーション科）

ポスター演題5

2月6日(金) 15:35～16:25

装具・ロボット・リハ機器1

座長：林 壮一郎（西広島リハビリテーション病院）

P5-1 脳卒中患者にボツリヌス療法とリハビリテーションロボットを併用し上肢機能改善を認めた一例

小西奈津子（社会医療法人甲友会 西宮協立リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P5-2 SPEX膝継手付き長下肢装具を使用し歩行能力が改善した一症例 ～重度片麻痺から独歩が獲得できた症例～

藍田 翔太（医療法人養和会 養和病院 回復期リハビリテーション病棟）

P5-3 HAL医療用下肢タイプを用いた回復期脳卒中患者の歩行能力・ADL改善の一例

寺田 成美（医療法人 永井病院 リハビリテーション科）

- P5-4 長下肢装具の足継手の種類が脳卒中片麻痺患者の治療効果に及ぼす影響**
大熊 健土（一般社団法人巨樹の会 松戸リハビリテーション病院）
- P5-5 適切なフィードバックの入力によりフィードフォワードの適正化が見られ歩行速度が向上した症例**
木野 楓己（医療法人清水会 脳神経リハビリ北大路病院 リハビリテーション部）
- P5-6 理学療法機器の使用頻度と定着に関する実態調査：当院PT部門でのアンケート結果から**
新井 龍一（医療法人協友会 横浜鶴見リハビリテーション病院 リハビリテーション技術科）
- P5-7 ネフローゼ症候群による断端浮腫により義足作製に難渋したがダイレクトソケットシステムを用いて歩行獲得に至った1例**
新井 一弘（医療法人守田会 いぶきの病院 リハビリテーション科）

ポスター演題6

2月6日(金) 16:35～17:25

装具・ロボット・リハ機器2

座長：後藤 凌介（東京湾岸リハビリテーション病院）

- P6-1 当院回復期のロボットスーツHAL運用実績 ～現在の課題と今後の方針～**
平安名真希（医療法人タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院）
- P6-2 当院回復期リハビリテーション病棟入棟患者における超音波骨折治療器を使用した大腿骨転子部骨折患者のリハビリテーション効果について**
本多 克久（医療法人社団東洋会 池田病院 リハビリテーション部）
- P6-3 長下肢装具の仕様変更による設定時間短縮効果と歩行練習促進への可能性**
福岡 宏之（医療法人社団苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院
リハビリテーション部）
- P6-4 VRリハビリテーションにより注意機能が向上し、模擬自動車運転が改善した一症例**
宇田川陽平（社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院 リハ技術部・作業療法科）
- P6-5 当院における上肢用ロボット型運動訓練装置ReoGo-J運用の実際 -運動回数に着目したシートの作成-**
新和なつみ（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院
リハビリテーション技術部）
- P6-6 回復期脳卒中患者の下肢装具再作製の臨床事例 -身体症状の変化に応じた治療用装具から更生用装具への移行過程-**
中林 泉希（社会医療法人天神会 新古賀リハビリテーション病院みらい
リハビリテーション課）
- P6-7 耳鼻咽喉科を標榜していない施設の回復期リハビリテーション病棟にて自作のフレンチセル赤外線眼鏡とバケツ法による前庭機能評価が理学療法の意思決定の一助となった一症例**
中松 太郎（社会福祉法人京都社会事業財団 京都からすま病院 リハビリテーション科）

歩行・移動1

座長：森山 暁（あおもり協立病院）

P7-1 回復期脳卒中患者に対する体重免荷式トレッドミル歩行訓練の効果

門 翔太（社会医療法人 府中病院 リハビリテーション室）

P7-2 回復期リハビリテーション病棟における重度脳卒中患者の入院中の身体活動量に関する症例報告リハビリ中・ADL場面の活動量に着目して

鹿志村和央（一般財団法人 多摩緑成会 緑成会病院）

P7-3 杖の違いが片麻痺者の歩行に及ぼす影響 – T字杖と片側Nordic Poleの比較 –

廣田 雄也（医療法人社団東京せいわ会 おくさわ脳卒中リハビリテーション病院
リハビリテーション部／
医療法人神奈川せいわ会 相武台リハビリテーション病院
リハビリテーション部）

P7-4 回復期退院後フォローアップ外来における痙縮増悪例への介入意義 – ボツリヌス療法と短期集中リハビリの併用効果 –

山口祐太郎（医療法人清水会 脳神経リハビリ北大路病院 リハビリテーション部）

P7-5 廃用による筋力低下が痙縮を助長し、歩行速度が低下した慢性期脳卒中症例

田中 領（医療法人康生会 泉佐野優人会病院 リハビリテーション部）

P7-6 胸椎化膿性脊椎炎術後患者の運動失調症状に対するリアルタイム視覚フィードバックの単一症例研究を用いた効果検証

本間 葵衣（苑田第三病院 リハビリテーション部／
苑田会東京脊椎脊髄病センター リハビリテーション部）

P7-7 胸椎黄色靱帯骨化症術後偽性髄膜瘤により回復が遷延したが、感覚障害の改善と独歩自立を得た一例

黒木 悠生（国家公務員共済組合連合会 九段坂病院
リハビリテーション部・リハビリテーション科）

ポスター演題8

2月6日(金) 11:25～12:15

歩行・移動2

座長：中村 英史（やわたメディカルセンター）

P8-1 回復期の高齢脳卒中患者における部分免荷トレッドミル歩行中の運動負荷の検討

宮野 彩未（南砺市民病院 地域リハビリテーション科）

P8-2 くも膜下出血後に小脳腫脹を呈した一症例 ～歩行自立へ向けて～

小野隼太郎（幸隆会 多摩丘陵リハビリテーション病院 リハビリテーション技術部
理学療法科）

- P8-3** 一酸化炭素中毒後の遅発性低酸素脳症により遷延性意識障害を認めた若年症例
近藤 颯人（社会医療法人若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院
リハビリテーション部 リハビリテーション課）
- P8-4** 免荷式歩行リフトの使用が奏効し、歩行の恐怖心を伴う重度運動・感覚障害患者の杖歩行獲得を可能にした一症例
森 亮磨（社会医療法人社団埼玉巨樹の会 新久喜総合病院
医療技術部・リハビリテーション科）
- P8-5** 座位保持困難であった胸髄損傷患者が歩行車歩行自立に至った症例
桑原 希望（医療法人社団苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院）
- P8-6** 大腿骨近位部骨折患者における歩行自立と身体部位別Phase angleの関連性
栗田 恵（公益財団法人仁泉会 北福島医療センター リハビリテーション科）
- P8-7** 当院に入院した大腿骨近位部骨折術後患者における、退院時歩行能力を予測するための入院時バランス能力評価項目の抽出
加賀谷萌里（一般社団法人巨樹の会 千葉みなとりハビリテーション病院
リハビリテーション科）

ポスター演題9

2月6日(金) 13:35～14:25

チームアプローチ1

座長：後藤 悠人（東京湾岸リハビリテーション病院）

- P9-1** 多職種連携によって口腔ケア自立と質向上につながった一症例
和田あかね（聖隷福祉事業団 浜松市リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- P9-2** 回復期病棟における重症慢性心不全が増悪した患者への心臓リハビリテーションの実践報告について ～多職種との介入でADLが向上し在宅復帰が可能となった一例～
東條 正伸（医療法人社団生和会 福山リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- P9-3** 認知機能が重度低下した脳卒中患者1例に対する3食自己摂取再獲得のためのチームアプローチ –サポーターとしての視点–
水口 剛司（医療法人珪山会 鵜飼リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- P9-4** 多職種での臨時カンファレンスで行動障害が改善した一症例
丹保亜伽里（社会福祉法人富山県社会福祉総合センター 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 成人療法課 作業療法科）
- P9-5** 重症脳出血により高次脳機能障害を呈した若年女性例に対して、多職種連携により自宅復帰と主婦業再開が可能となった一例
水戸部研吾（邑楽館林医療企業団 公立館林厚生病院 医療技術部
リハビリテーション技術室）
- P9-6** 持続する嘔気・嘔吐により意欲が低下しリハビリ困難であった小脳梗塞患者に対し、多職種で目標シートを作成しリハビリに参加できるようになった症例
泉谷 昇太（社会医療法人社団カレスサッポロ カレス記念病院 リハビリテーション部
言語聴覚療法科）

P9-7 重度脳卒中患者の退院支援における多職種担当者チームマネジメントの有用性に関する一考察

神田 龍太（一般社団法人是真会 長崎リハビリテーション病院 臨床部）

ポスター演題10

2月6日(金) 14:35～15:25

チームアプローチ2

座長：湯本 英恵（NTT 東日本伊豆病院）

P10-1 身体拘束最小化への取り組み～多職種ラウンドカンファレンス(RCF)を実践して

田中 梨絵（医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院 看護部 3階病棟）

P10-2 多職種チームアプローチの有効性－「歯磨き動作」できるADLからしているADLに上げていこう！－

松井 里絵（社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター 看護部）

P10-3 FIM評価支援Excelツール導入によるチームケアの質的向上～簡便性と整合性を持ち合わせたADL評価を目指して～

酒井 裕美（伊那中央病院）

P10-4 協働の体制構築が促す病棟レクリエーションの広がり

牧 利樹（社会医療法人財団仁医会 牧田リハビリテーション病院
リハビリテーション部 理学療法課）

P10-5 看護師×歯科衛生士の連携がもたらす“口からの変化”－継続的ケアによる口腔機能管理の効果－

春木 望美（医療法人堀尾会 熊本託麻台リハビリテーション病院）

P10-6 回復期病棟における心臓リハビリテーション立ち上げの取り組みと初期成果の報告

白地 大樹（医療法人社団生和会 福山リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P10-7 病棟における看護師とリハビリスタッフ間の他職種連携と、連携支援ツール導入の有用性に関する定量的研究

岡田 拓也（社会福祉法人恩賜財団済生会 愛知県済生会リハビリテーション病院 看護部）

ポスター演題11

2月6日(金) 15:35～16:25

チームアプローチ3、回復期リハ認定看護師・セラマネの活動

座長：森本 雅史（長崎リハビリテーション病院）

P11-1 回復期病棟における離床の質的向上を目指した多職種協働の実践報告

近藤 玲央（一般財団法人多摩緑成会 緑成会病院 リハビリテーション部）

P11-2 当院の臨床倫理教育の取り組みについて

猪狩 遥（医療法人社団 イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院
リハビリテーション科）

P11-3 更衣動作に焦点を当てた看護計画の立案とその効果

大内 知美（社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会リハビリテーション病院 2階東病棟）

P11-4 入院早期における退院前訪問指導の推進とその効果 -回復期セラピストマネージャーによる運用改善の取り組み-

嶋田 圭吾（浜松市リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P11-5 ケアミックス病院におけるセラピストマネージャーと専従療法士の役割認識と課題に関するアンケート調査

権田 知之（社会医療法人 熊谷総合病院 医療技術部 リハビリテーション科）

P11-6 看護・介護10か条の実態調査 ～「洗面は洗面所で朝夕、口腔ケアは毎食後実施しよう」の活動を通して～

川上 潤（一般社団法人巨樹の会 松戸リハビリテーション病院 看護部）

P11-7 急性期病棟におけるセラピストマネージャーの取り組み -セラピスト10カ条および職種別5カ条の認知・実践状況の分析-

下川 和也（社会医療法人社団東京巨樹の会 東京品川病院 医療技術部
リハビリテーション科）

ポスター演題12

2月6日(金) 16:35～17:25

質の評価・アウトカム評価1

座長：足立 睦未（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

P12-1 回復期リハビリテーション病棟入院患者における健側股関節屈曲トルクの分析

鈴木 真依（医療法人恒仁会 近江温泉病院 総合リハビリテーションセンター）

P12-2 視神経脊髄炎の一例

萩原 賢一（大原記念財団 大原医療センター）

P12-3 胸髄損傷患者におけるしびれ同調TENSの有効性検証：ABAデザインによる単一事例研究

阿部 哲也（医療法人社団巨樹の会 蒲田リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

P12-4 廃用症候群患者における運動機能改善に影響する因子の検討

青木 克弥（一般社団法人巨樹の会 宇都宮リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

P12-5 当院回復期リハビリテーション病棟に入院する精神疾患を合併する対象者の特徴

吉森 智子（医療法人鴻池会 秋津鴻池病院 リハビリテーション部）

P12-6 回復期脳卒中における入院時BBS後方バランス課題能力と退院時移動FIMの関連：単施設後ろ向き解析

中村 樹（多摩緑成会 緑成会病院 リハビリテーション部）

P12-7 当院回復期リハビリテーション病棟における退院先および実績指数の関連因子の検討とm-FIMによる予測モデルの検討

瀬戸上浩明（医療法人厚生会 小原病院 リハビリテーション科）

退院支援・家族支援・地域連携1

座長：藤井 由記代（社会医療法人大道会 森之宮病院）

P13-1 退院支援における地域資源活用の実例 ～東久留米市の事例から～

中村 純（医療法人社団苑田会 滝山病院 リハビリテーション科）

P13-2 独居・同居高齢者における退院時FIM運動・認知スコアと退院先の関連性の一施設での検討

楠根 健司（医療法人誠人会 与田病院 リハビリテーション部）

P13-3 回復期リハビリテーション病棟における入院上限を超えるケースについて ～当院の症例を通してみえた課題～

亀山 庸子（医療法人財団公仁会 鹿島病院 医療相談部）

P13-4 ギラン・バレー症候群による四肢麻痺患者が、回復期リハビリテーション病棟期限後に地域包括ケア病棟へ転棟し、自宅退院に至った一例

浅香 貴広（国家公務員共済組合連合会 九段坂病院 リハビリテーション科）

P13-5 『余暇活動の楽しさ評価法』を用いた作業の具体的な楽しさの要素評価と類似作業の提案が本人らしい退院支援に繋がったクモ膜下出血患者の一例

小塚 洋輝（医療法人社団保健会 東京湾岸リハビリテーション病院
リハビリテーション部・作業療法科）

P13-6 身寄りのない方の退院支援事例

藤原裕依子（鳥取医療生協組合 鳥取生協病院 医療相談室）

P13-7 作業選定意思決定ソフト(ADOC)を活用した退院時目標と退院後のリハ継続との関連について

岡本 裕一（市立野洲病院）

ポスター演題14

2月6日(金) 11:25～12:15

退院支援・家族支援・地域連携2

座長：野崎 静恵（浜松市リハビリテーション病院）

P14-1 進行性のパーキンソン病急性増悪事例に対する振り返り

青笹 壘斗（医療法人養和会 養和病院 回復期リハビリテーション病棟）

P14-2 回復期病院における高齢者サロン開催に向けての取り組み報告

佐藤 雅紀（医療法人桂山会 鶴飼リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

P14-3 お父さんと座って過ごしたい ～段階付けた家族指導で福祉用具が使えるようになった事例～

土屋 未来（社会医療法人春回会 長崎北病院 総合リハビリテーション部）

- P14-4 回復期リハビリテーション病棟における入院時FIMを用いた退院支援方針早期決定の可能性 – 2病院における退院後支援量の比較 –**
野口隆太郎（医療法人社団輝生会 在宅総合ケアセンター成城
成城リハビリテーション病院 生活期支援部）
- P14-5 大腿骨近位部骨折患者の退院時ADLと自宅復帰要因の検討**
村瀬 司（桂名会 重工大須病院 リハビリテーション部）
- P14-6 当院の回復期病棟から自宅退院した後期高齢患者における退院先別のFIM変化とその要因について**
橋口 桃（医療法人溪仁会 札幌西円山病院 リハビリテーション部 作業療法科）
- P14-7 回復期リハビリテーション病棟から介護福祉施設・居宅系施設退院後の転倒・骨折を繰り返す要因を探り、対策を考える**
奥村有可子（社会医療法人寿量会 熊本機能病院 回復期7病棟）

ポスター演題15

2月6日(金) 13:35～14:25

退院支援・家族支援・地域連携3

座長：荒木 佑介（札幌溪仁会リハビリテーション病院）

- P15-1 医療・介護連携強化を目的とした地域施設対象のスキルアップセミナーの実践報告**
萬代 陽介（社会医療法人シマダ 嶋田病院 リハビリテーション部）
- P15-2 受傷早期からの病病連携および居宅支援事業所との連携が早期在宅復帰に有効であった大腿骨頸部骨折の一例**
宇次 紀子（医療法人桂名会 重工大須病院 リハビリテーション部）
- P15-3 回復期病棟から装具外来への円滑な移行を目指した退院支援体制の確立**
長南 良介（医療生活協同組合やまがた 鶴岡協立リハビリテーション病院
リハビリテーション技師部 理学療法科）
- P15-4 家族の介護認識に課題を認めた脳卒中症例 –退院支援を通して–**
細川 和真（医療法人岐阜勤労者医療協会 みどり病院 リハビリテーション科）
- P15-5 退院支援リンクナースが退院支援カンファレンスを行う効果的な情報共有**
仲村 春香（医療法人おもと会 大浜第一病院 看護部 10階病棟）
- P15-6 演題取り下げ**
- P15-7 回復期セラピストの退院支援を入院中期からサポートする取り組みの効果**
木下 真実（鳥取医療生活協同組合 鳥取生協病院）

退院支援・家族支援・地域連携4、就労・就学支援

座長：安達 翔吾（米子東病院）

P16-1 重度頸髄損傷患者の在宅退院支援における24時間ケア表を用いた家族指導の工夫

加世田美樹（社会医療法人春回会 長崎北病院 総合リハビリテーション部）

P16-2 ICFとゴードンの機能的パターンを統合したデータベースの作成と活用 ～記録の効率化と退院支援の質向上を目指して～

若尾 美枝（社会医療法人加納岩 山梨リハビリテーション病院 看護部）

P16-3 介護予防事業で得た成果【要支援・要介護認定率に着目して】

芝 雄汰（医療法人財団尚温会 総合リハビリテーション 伊予病院
リハビリテーション部）

P16-4 回復期病棟での小児患者のリハビリテーションの経験

大塚 志歩（一般社団法人巨樹の会 新宇都宮リハビリテーション病院
リハビリテーション課）

P16-5 高次機能障害を持つ小児の就学支援

濱辺 由佳（熊本託麻台リハビリテーション病院）

P16-6 高次脳機能障害者の就労支援における当院での取り組み -就労集団プログラム多摩job-

三浦 由貴（医療法人社団幸隆会 多摩丘陵リハビリテーション病院 作業療法科）

P16-7 外国人労働者の復職における職場連携が重要であった一事例

小林 哲也（医療法人三星会 茨城リハビリテーション病院）

ポスター演題17

2月6日(金) 15:35～16:25

摂食嚥下・栄養1

座長：福島 宏美（熊本機能病院）

P17-1 回復期病棟におけるKTバランスチャート活用の取り組み

清水 ゆき（医療法人厚生会 福井厚生病院）

P17-2 当院における骨格筋指数(SMI)の変化からみたリハ栄養の現状と課題

金子 将之（医療法人社団六心会 恒生病院 リハビリテーション課）

P17-3 Wallenberg症候群を既往にもち、両側小脳梗塞を併発した重度嚥下障害の1症例

石戸谷 颯（医療法人友愛会 盛岡友愛病院 リハビリテーション技術部）

P17-4 GLIM基準による栄養評価と認知、筋力の複合指標が実績指数に及ぼす影響の検討

米田 知記（医療法人ひまわり会 中洲八木病院 リハビリテーション部）

P17-5 干渉波電気刺激の併用による嚥下機能および気切管理の改善への影響

増田 薫（医療法人苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P17-6 嚥下障害に関わる因子についての系統的レビュー

濱田 詩穂（社会医療法人明陽会 第二成田記念病院 リハビリテーション室）

P17-7 重度摂食嚥下障害と低栄養を呈した患者に対し、入院から在宅まで継続した栄養介入により、栄養状態維持・経口摂取継続している一例

濱中英里子（医療法人社団輝生会 船橋市立リハビリテーション病院 回復期支援部）

ポスター演題 18

2月6日(金) 16:35～17:25

摂食嚥下・栄養2、高次脳機能・認知機能1

座長：竹谷 剛生（熊本機能病院）

P18-1 高次脳機能障害者の食事摂取量改善に共食が有効と考えられた一例

傳宝 茜子（公益財団法人北海道医療団 帯広西病院 リハビリテーション科）

P18-2 重度にADLが低下した脳血管障害経管栄養患者におけるADL・認知機能と経口摂取移行との関係

星 達也（医療法人社団苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院
リハビリテーション部）

P18-3 回復期リハビリテーション病棟における認知機能と実績指数の関連

大野 哲也（社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P18-4 前頭葉皮質下出血後の重度注意障害に対し、Virtual Reality (VR) やMixed Reality (MR) の使用と視覚的環境設定により、衣類整理に着手できた一症例

岸 純子（独立行政法人国立病院機構 鳥取医療センター）

P18-5 改訂認知行動チェックリストの有用性

鴻上 雄一（社会医療法人柏葉会 札幌柏葉会病院 リハビリテーション部）

P18-6 重度記憶障害者の自宅退院後の代償手段獲得に向けたチームアプローチについて

金 里栄（医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院 回復期支援部）

P18-7 半側空間無視における注意の解放障害が調理動作の左麻痺手の使用に影響した一症例

寺内 万弥（関西電力病院 リハビリテーション部）

ポスター演題 19

2月6日(金) 10:25～11:25

スタッフ教育・人材育成・働き方改革1

座長：池田 吉隆（医療法人社団輝生会 回復期生活期支援部）

P19-1 職員の成長を組織力に繋げるための人事評価ラダーの活用

渡辺 康太（IMS グループ 医療法人三愛会 埼玉みさと総合リハビリテーション病院
リハビリテーション部）

P19-2 回復期病棟での作業療法実習におけるOT5か条に焦点を当てた実践

秋田翔太郎（十条武田リハビリテーション病院／日本福祉大学大学院）

- P19-3 回復期リハビリテーション病棟における急変対応力向上を目的とした振り返りシート導入の実践報告**
遠藤 礼基（清風会 廿日市記念病院 看護部）
- P19-4 回復期リハビリテーション病院の作業療法士が求める教育内容の検討 ～新人教育プログラムに関する調査より～**
露崎 雄太（医療法人社団淳英会 おゆみの中央病院 リハビリテーション部）
- P19-5 当院における多職種の急変対応スキル向上への取り組み**
福原 里紗（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院 看護部）
- P19-6 データマイニングを活用したラダー別教育システムの構築とその運用報告 –回復期リハビリテーション病棟における教育の質向上を目指して–**
井上 拓真（医療法人社団生和会 福山リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- P19-7 当院リハビリテーション室における育成面談の取り組みと今後の課題**
廣田佳世子（鳥取医療生協 鳥取生協病院 リハビリテーション室）

ポスター演題20

2月6日(金) 11:25～12:15

スタッフ教育・人材育成・働き方改革2、業務改善・DX1

座長：和宇慶亮士（沖縄リハビリテーションセンター病院）

- P20-1 若手理学療法士への介助指導による、後方介助歩行時の筋活動の変化**
寛 丈毅（医療法人社団主体会 主体会病院 総合リハビリテーションセンター）
- P20-2 在宅復帰率の実態と看護師が認識する課題の分析 ～開院初年度の回復期リハビリテーション病院を対象として～**
田村 聖子（池友会 青山リハビリテーション病院 看護部）
- P20-3 学生ストレス度と実習満足度・理学療法士魅力度との関連について –アンケート結果に基づく後ろ向きコホート研究–**
宮澤 亜紀（IMS(イムス)グループ 医療法人社団明生会
イムス札幌リハビリテーション病院 リハビリテーション科）
- P20-4 勤務シフト調整方法変更によるリハビリ単位数増加について**
太田 宏（医療法人社団東光会 戸田中央リハビリテーション病院 リハビリテーション科）
- P20-5 ホームページを活用した作業療法士の人材獲得に向けた取り組み報告**
野口 智裕（医療法人社団巨樹の会 江東リハビリテーション病院 リハビリテーション科）
- P20-6 当院におけるレクリエーションの業務改善内容のアンケート調査 –療法士に対する働きかけとレク活動による認知度の影響–**
中山瑠莉愛（社会医療法人財団仁医会 牧田リハビリテーション病院
リハビリテーション部 作業療法課）
- P20-7 オムツ交換回数の見直しによる患者の安眠確保と看護師業務への影響**
大森 貴之（医療法人共栄会 名手病院 看護部）

自動車運転、服薬管理・薬剤

座長：杉山 岳史（川崎医科大学総合医療センター）

- P21-1 回復期リハビリテーション病院に入院した脳卒中患者の自動車運転再開に影響する高次脳機能障害について**
原田健太郎（医療法人社団 R&O 静清リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- P21-2 当院における失語症者の運転再開と評価指標**
鈴木 巖生（社会医療法人平成醫塾 苫小牧東病院 リハビリテーション部）
- P21-3 実車ででの経験を重ねたことで運転技能の改善が見られ運転再開に至った一事例**
阿部美生香（医療法人社団明芳会 イムス板橋リハビリテーション病院 リハビリテーション科）
- P21-4 当院における脳卒中患者の自動車運転支援の現状および今後の取り組み**
岩本 拓真（医療法人徳洲会 宇和島徳洲会病院）
- P21-5 内服薬自己管理の開始判断にCBAを活用した取り組み**
矢野智恵美（社会医療法人河北医療財団 河北リハビリテーション病院 看護部）
- P21-6 回復期リハビリテーション病棟での不眠時指示薬の適正使用に向けたフローチャート作成の取り組み**
石原 友貴（社会医療法人清風会 廿日市記念病院 診療支援部 臨床薬剤科）
- P21-7 回復期リハビリテーション病棟における服薬自己管理評価の実践**
平田 優希（社会医療法人若弘会 わかくさ竜間リハビリテーション病院 看護部）

ポスター演題22

2月6日(金) 14:35～15:25

上肢へのアプローチ1

座長：沖 信吾（伊予病院）

- P22-1 維持期脳卒中者へのゲーミフィケーションを活用した上肢トレーニングの効果検証**
相川 瑞希（医療法人福岡桜十字 桜十字福岡病院 リハビリテーション部）
- P22-2 脳卒中患者の上肢運動機能の予後予測と関連する因子の検討**
高橋杏柚加（医療法人社団アールアンドオー 静清リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- P22-3 脳卒中後片麻痺の異常歩行を改善する目的で麻痺側リーチ動作練習を取り入れた症例**
我妻 亮弥（IMS グループ イムス板橋リハビリテーション病院 リハビリテーション科）
- P22-4 回復期リハビリテーション病棟における修正CI療法の試み ～社会復帰に必要な作業ニーズに着目した一例～**
竹内 亮輔（わかくさ竜間リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P22-5 持続的電気刺激下での促通反復療法の併用により、重度手指運動麻痺の改善がみられた一症例

岩田 早永（清光会 岐阜清流病院 リハビリテーション療法課）

P22-6 肩関節痛を伴う重度上肢麻痺を呈した回復期脳卒中患者に対し、体外衝撃波治療・電気刺激療法・装具療法を併用した多角的介入

美保 良典（大雄会第一病院）

P22-7 回復期重度上肢麻痺患者における自主訓練の意欲・患側上肢への気付きの影響

篠崎 巧（地方独立行政法人 栃木県立リハビリテーションセンター
リハビリテーション部 作業療法科）

ポスター演題23

2月6日（金） 15:35～16:25

排泄、ADL・IADL3

座長：井村 太治（西広島リハビリテーション病院）

P23-1 退院時FIM排尿コントロール予測におけるCBAとFIMの有用性検証 ～ケアワーカーによる排尿評価の標準化に向けて～

井澤 知之（医療法人社団 船橋市立リハビリテーション病院 回復期支援部）

P23-2 高次脳機能障害、運動失調を持つ高齢患者がトイレ動作を習得していく自立支援の過程ートイレ動作評価フォームを用いてー

堤谷 貴江（かみいち総合病院 回復期リハビリテーション病棟）

P23-3 トイレ関連動作向上を目指した取り組みの実践と成果

荒木 佑太（医療法人清和会 平成とうや病院 リハビリテーション部）

P23-4 当院における排泄ケアラウンド導入についての一報告

有野 賢一（医療法人社団健育会 湘南慶育病院）

P23-5 演題取り下げ

P23-6 回復期病棟におけるモーニングケアの実態と課題

井手 裕晃（社会医療法人春回会 長崎北病院）

P23-7 屋外リハビリテーション訓練施設「リハビリパーク」の開設と運用報告

前田 凌佑（医療法人来光会 尾洲病院 リハビリテーション科）

ポスター演題24

2月6日（金） 16:35～17:25

QOL・心理1、コミュニケーション1

座長：今田 桂子（医療法人財団公仁会 鹿島病院）

P24-1 心不全手帳の活用がセルフモニタリング行動の変容と不安感の軽減に繋がった症例

佐藤 駿（社会医療法人豊生会 東苗穂病院 リハビリテーション部
回復期リハビリテーション科）

- P24-2 大病をしたことでお互いの大切さに気づいた ～病棟でのちいさな結婚式～**
福永 絹枝（香川医療生活協同組合 高松協同病院）
- P24-3 回復期リハビリテーション病棟における化粧・ネイルの取り組み**
鵜島 美波（医療法人社団明芳会 イムス横浜狩場脳神経外科病院 リハビリテーション科）
- P24-4 回復期リハビリテーション病棟で壊死性縦隔炎後に生活意欲が低下した方に対して馴染みのある作業を活かした介入を行い在宅復帰に至った一事例**
櫻井 裕子（IMS(イムス)グループ イムス板橋リハビリテーション病院
リハビリテーション科）
- P24-5 Bandura理論に基づく看護師の声かけが脳卒中患者の歩行自己効力感に与える影響：ABA単一事例による検討**
坂下 光彦（医療法人社団生和会 福山リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- P24-6 「目を合わせる」から始めるつながり –@ ATTENTIONを用いた重度失語症を呈する事例と家族の共同注意支援–**
堤 優菜（医療法人博人会 福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- P24-7 失語症者の社会参加促進に向けた多職種連携**
森谷 瞳（医療法人タピック 沖縄リハビリテーションセンター病院）

MEMO

**一般演題プログラム
ポスター演題
第2日目 2月7日(土)**

プログラム 一般演題 (ポスター演題) 第2日目

ポスター会場 (米子コンベンションセンター 2F 国際会議室)

ポスター演題 25

2月7日(土) 9:00~9:50

摂食嚥下・栄養3

座長：影山 典子 (西広島リハビリテーション病院)

P25-1 当院回復期リハビリテーション病棟の栄養障害の傾向について

中西 景司 (健生会 おかたに病院 リハビリテーション科)

P25-2 高度な痩せを伴う集団におけるリハビリ効果と栄養学的因子の関連

西川 えみ (社会医療法人 さいたま市民医療センター/女子栄養大学大学院)

P25-3 KTバランスチャートに基づくアプローチリスト「バイタルプレート」の取り組みと食欲不振が改善した一例

友政 智美 (医療法人恒仁会 近江温泉病院 総合リハビリテーションセンター)

P25-4 回復期脳卒中患者におけるエネルギー消費の実測評価ー長下肢装具歩行と離床活動を加速度計で検討した単一症例

野呂瀬夏希 (医療法人社団協友会 横浜鶴見リハビリテーション病院
リハビリテーション技術科)

P25-5 なぜGLIM基準なのか ~多職種の栄養評価における意識変化~

田口 友香 (医療法人銀門会 甲州リハビリテーション病院 事務部 栄養管理課)

P25-6 食堂での経管栄養が経口摂取再開の契機となった一例

吉尾 一沙 (医療法人社団玉栄会 東京天使病院 リハビリテーション科)

P25-7 気管切開中の重度嚥下障害者に対し、レティナカニューレ変更を契機に経口摂取へ至った一症例

石井 空 (相模大野リハビリテーション病院)

ポスター演題 26

2月7日(土) 10:00~10:50

退院支援・家族支援・地域連携5

座長：滋野 智也 (聖隷福事業団 聖隷佐倉市民病院)

P26-1 共同意思決定を強力に推し進める手段について ~複数回施設外訓練を実施する意義~

佐々木 秀 (医療法人ひまわり会 札幌病院 リハビリテーション療法部 作業療法課)

P26-2 当院回復期リハビリテーション病棟における多職種退院支援カンファレンス用紙の看護師記入欄の現状

竹本裕里恵 (一宮市立木曽川市民病院)

P26-3 回復期リハビリテーション病棟退棟後の外来リハビリテーションの重要性と課題

伊藤のぞみ（福井総合クリニック リハビリテーション課 理学療法室）

P26-4 外出先への家屋調査が運動意欲向上と外出機会増加に繋がった症例

長谷川拓実（一般社団法人巨樹の会 新宇都宮リハビリテーション病院
リハビリテーション課）

P26-5 高次脳機能障害を呈したくも膜下出血患者の退院支援ーチェックシートを活用し患者と家族双方に在宅生活の課題の認識を促した事例ー

澤田 唯（社会医療法人柏葉会 札幌柏葉会病院 リハビリテーション科）

P26-6 リハビリテーション計画における入院時家屋調査の有用性の検討

中村 英史（特定医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター
リハビリテーション技師部）

P26-7 「みんなの目標シート」を活用した退院支援強化に向けた取り組み

近藤友加里（社会医療法人明和会 中通リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

ポスター演題 27

2月7日(土) 11:00～11:50

退院支援・家族支援・地域連携6

座長：森川 純（御所南リハビリテーションクリニック）

P27-1 回復期病院にて作業有能性の向上が図れ独居生活再開への不安が軽減した事例

柳沼 智子（IMS <イムス>グループ イムス板橋リハビリテーション病院）

P27-2 当院における家屋調査の実施状況とその課題ーアンケート調査のまとめー

坂本 大歩（社会医療法人シマダ 嶋田病院 リハビリテーション部）

P27-3 退院後の生活を想定した早期からの支援により短期間で在宅生活が可能となった事例

町野 浩樹（社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院 リハビリテーション部）

P27-4 日本語を母語としない外国人患者の理学療法におけるコミュニケーションの課題と実践：一症例の報告

速水 光（一般財団法人多摩緑成会 緑成会病院 リハビリテーション部）

P27-5 気管切開孔閉鎖困難例に対し、多職種協働で退院支援を行うことで自宅退院に至った一例

蛭田 和真（一般社団法人巨樹の会 新宇都宮リハビリテーション病院
医療技術部・リハビリテーション課）

P27-6 回復期病棟における自宅復帰患者の特徴～高齢化と認知症が進む地域での検討～

鷲崎 允大（社会医療法人親仁会 みさき病院 リハビリテーション科）

P27-7 当院における後方連携への取り組みについて

山本 大地（南医療生活協同組合かなめ病院 回復期リハビリテーション科）

退院支援・家族支援・地域連携7

座長：小村 和美（医療法人財団公仁会 鹿島病院）

- P28-1** 回復期病棟におけるSDMを用いた目標設定プロセスの実践報告ー多職種連携と目標の再構築による在宅復帰支援の一例ー
鈴木 隼（袖ヶ浦さつき台病院 リハビリテーション部）
- P28-2** その人らしい暮らしの再構築を目指した退院支援の実践（第二報）～地域との「つながり」まで支援し社会参加が継続できた症例～
恵良 萌衣（共和会 小倉リハビリテーション病院 臨床サービス部）
- P28-3** 音韻処理障害を呈した流暢性失語症者への継続的言語訓練の経過報告 ～入院から外来までの支援と生活に根ざした介入の一例～
鈴木 智子（医療法人社団永生会 新八千代病院 リハビリテーション科）
- P28-4** 視床梗塞後に小脳性認知情動症候群を呈し、退院後の転倒増加から第3腰椎圧迫骨折に至った一症例
田中 葵（医療法人清水会 脳神経リハビリ北大路病院 リハビリテーション部）
- P28-5** 滋賀県における回復期リハビリテーション情報交換会の取り組みー多職種参加の拡大と退院支援における各医療機関での役割を中心にー
石田 哲士（滋賀県立リハビリテーションセンター）
- P28-6** 退院後3ヵ月におけるFAIと予測値と実測値の相違要因の検討
榎谷 昌平（医療法人社団栄宏会 土井リハビリテーション病院 リハビリテーション科）
- P28-7** リハ病院内にあるリハビリテーション機能を持った一般病棟でのMSW支援の実際
玉井 智（昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 総合サポートセンター／昭和医科大学大学院医学研究科）

ポスター演題29

2月7日(土) 14:10～15:00

退院支援・家族支援・地域連携8

座長：山根美和子（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

- P29-1** 頻回な家族指導が生活イメージの共有につながり、自宅退院に至った一症例
竹谷 圭司（医療法人せいふう会 川西リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- P29-2** 失語症や失行を呈した患者に対し、自宅退院を目指して作業療法を実践した一例
岡村 萌花（独立行政法人広島市立病院機構 広島市立リハビリテーション病院 リハビリテーション技術科）
- P29-3** 関連病院における退院前訪問指導の効果と業務負担に関する予備的調査
高原 利和（医療法人せいわ会 大阪たつみりハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- P29-4** 退院後訪問指導への取り組み
竹内千津子（脳神経センター大田記念病院）

P29-5 高次脳機能障害を有する70歳患者の独居での自宅退院を実現した退院支援の一例

芝口 裕樹（医療法人ガラシア会 ガラシア病院）

P29-6 入院時合同評価がもたらす家族への効果 – 家族が認識する患者のADLを入院時合同評価前後で比較して –

恒松 利枝（総生会 麻生リハビリ総合病院 看護部）

P29-7 99歳で大腿骨頸部骨折を受傷し、人工骨頭置換術を施行された超高齢者の理学療法経験

門内 鈴香（医療福祉生活協同組合おおさか コープおおさか病院 リハビリテーション部）

ポスター演題30

2月7日(土) 9:00～9:50

業務改善・DX2、病棟マネジメント

座長：藤井 博昭（鶴飼リハビリテーション病院）

P30-1 スマートベッドシステム™導入による多職種連携とケアの質向上への取り組み

平田 浩美（友愛会 豊見城中央病院）

P30-2 FIM定期評価の確実な実施に向けた院内での周知と運用体制整備の取り組み

横山万里子（社会医療法人財団仁医会 牧田リハビリテーション病院
リハビリテーション部・作業療法課）

P30-3 リハケアマインドの獲得による業務への意識と質の変化

坂口 康之（一般財団法人多摩緑成会 緑成会病院 看護部）

P30-4 回復期リハ関連書類（リハビリサマリー・家屋訪問調査書）に対するAI活用の業務効率化の取り組み

石橋 和博（社会医療法人天神会 新古賀リハビリテーション病院みらい
リハビリテーション課）

P30-5 当院回復期リハビリテーション病棟における痙縮への取り組み ～早期介入の効果～

新垣 美佐（益田地域医療センター医師会病院 リハビリテーション科）

P30-6 病棟運営の視点からみたカンファレンスタイミングの再検討 – 早期退院支援の促進を目指して –

青木 拓也（医療法人健康会 嶋田病院 リハビリテーション部 理学療法科）

P30-7 チーム制度の導入によるスタッフ間コミュニケーションと教育的効果

堀口 和輝（医療法人社団大和会 多摩川病院 リハビリテーション部）

ポスター演題31

2月7日(土) 10:00～10:50

QOL・心理2、質の評価・アウトカム評価2

座長：松橋菜実子（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

P31-1 心理的低下を呈した脳卒中患者に対する課題設定と自己表現の促しがADL改善に与える影 – シングルケース報告 –

河野 莉佳（医療法人清水会 脳神経リハビリ北大路病院 リハビリテーション科）

P31-2 演題取り下げ

P31-3 集団レクリエーション実施におけるフェイススケールを用いた患者の気分の変動

相松 伶菜（医療法人尚豊会 みたき総合病院 リハビリテーション科）

P31-4 回復期リハビリテーション病棟における後期高齢者の入院時全身位相角とFIM effectivenessの関連の検討

石田 純美（医療法人愛全会 愛全病院 リハビリテーション部）

P31-5 高齢者における下腿最大周径測定信頼性の検討

佐々木健太（公益社団法人地域医療振興協会 あま市民病院）

P31-6 当院回復期病棟における5回立ち上がりテストと骨格筋量の関連性について

杉野 友哉（医療法人徳洲会 高砂西部病院）

P31-7 高次脳機能障害を有する脳血管疾患患者における言語聴覚士のFIM運動項目予測精度の検討

目黒 嵩晶（小金井リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

ポスター演題32

2月7日(土) 11:00～11:50

質の評価・アウトカム評価3、業務改善・DX3、コミュニケーション2

座長：佐藤 勝之（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

P32-1 FIM低値脳卒中重症例における実績指数予測モデルの構築ー決定木分析による除外判断基準の可視化に向けた検討ー

池上 滉一（社会医療法人三栄会 ツカザキ病院）

P32-2 高齢者に対する低強度・高速度トレーニングの効果：N-of-1 デザインによる検討

櫻井 大輔（医療法人社団武蔵野会 小平中央リハビリテーション病院）

P32-3 回復期リハビリテーション病院における医師事務作業補助者の取り組み

中平麻衣子（医療法人恕泉会 リハビリテーション病院すこやかな杜 医師事務作業補助者）

P32-4 生成AIを用いた勤務シフト自動作成ツールの実装

北井 洸（平成とうや病院）

P32-5 外国籍患者とのコミュニケーションに難渋した症例

秋元 洋祐（一般社団法人巨樹の会 新宇都宮リハビリテーション病院
リハビリテーション課）

P32-6 失語症のある人と対話者のコミュニケーションを支える取り組み

松本 侑大（医療法人博仁会 福岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P32-7 早期より自主トレを取り入れたリハビリを進めることで、回復が促進された回復期失語症例

齋藤瀬里奈（医療法人社団協友会 横浜鶴見リハビリテーション病院
リハビリテーション技術科）

ADL・IADL3

座長：藤田 暢一（社会医療法人大道会 森之宮病院）

- P33-1** 脳底動脈梗塞による重度運動失調に対しCore stability trainingを行い4週間で基本動作能力の改善によりFIMの点数が向上した症例
岸本 莉子（昭和医科大学 藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター）
- P33-2** 拘束性換気障がい呈する脳血管疾患を持つ症例に対し、ベッド周辺動作の介助量軽減を目的とした体幹機能練習を取り入れた理学療法介入報告
永岡 直充（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院 リハビリテーション技術部）
- P33-3** 回復期リハビリテーション病院における転倒・転落に関する分析調査 ～GROS評価表を活用した転倒リスクアセスメント～
小崎 弘敦（医療法人社団巨樹の会 原宿リハビリテーション 看護部 リハビリテーション科）
- P33-4** 高齢大腿骨近位部骨折患者の入浴自立に関する認知関連行動アセスメント（CBA：Cognitive-related Behavioral Assessment）の有用性
松本小百合（社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室）
- P33-5** 高齢患者の自宅退院後のデマンド実現のために作業機能障害に着目し活動制限を防いだ事例
永住 千景（社会医療法人共愛会 戸畑リハビリテーション病院 リハビリテーション科）
- P33-6** 重度運動麻痺を呈した高齢脳梗塞患者に対するギャッチアップ活用による起居動作の改善における問題点
早矢仕恭平（清光会 岐阜清流病院 リハビリテーション課）
- P33-7** 後期高齢脳卒中患者における退院時歩行自立の予測因子 ～入院2週評価による検討～
古田 早志（おくさわ脳卒中リハビリテーション病院）

ポスター演題34

2月7日(土) 14:10～15:00

ADL・IADL4

座長：土谷 達也（米子東病院）

- P34-1** 回復期脳卒中患者の入院時評価による退院時移動自立（FIM歩行6点以上）の予測モデル構築
千田 泰輝（医療法人社団巨樹の会 原宿リハビリテーション病院 医療技術部 リハビリテーション科）
- P34-2** 2度目のギランバレー症候群を呈し、寝たきり状態から独歩自立を獲得した50代男性のADL動作獲得と限界
大沢 一貴（協友会 横浜鶴見リハビリテーション病院 リハビリテーション技術科）

P34-3 回復期リハビリテーション病棟におけるADL表活用の現状と課題

岩本 真由（医療法人社団生和会 広島はくしま病院 リハビリテーション部）

P34-4 THA術後回復期リハビリテーションにおける作業療法士の必要性の検討

板野 萌音（公益財団法人 天理よろづ相談所病院白川分院 リハビリテーション部）

P34-5 患者への指導方法や医療職・家族と連携を工夫することで実用的に義足使用できた高齢下腿切断の1例

横田 紫苑（社会医療法人信愛会 交野病院 リハビリテーション科）

P34-6 当院の回復期脳血管疾患患者を対象とした退棟時FIM運動項目得点の予測モデルの構築と検証

久保田素生（医療法人紅萌会 福山記念病院 リハビリテーション科／
脳神経センター大田記念病院 診療技術部急性期リハビリ課／
県立広島大学 保健福祉学部）

P34-7 多職種による入浴動作自立に向けた評価と練習の構造化とその効果

近藤 麻友（藤田医科大学 七栗記念病院）

ポスター演題35

2月7日(土) 9:00～9:50

高次脳機能・認知機能2

座長：椎名 英貴（社会医療法人大道会 森之宮病院）

P35-1 回復期リハビリテーション病棟に入棟する認知症合併患者におけるレクリエーション参加態度別のレクリエーションの認知機能及びBPSDへの効果

荒井 英俊（医療法人ひまわり会 札幌病院／札幌医科大学 訪問研究員）

P35-2 高次脳機能障害患者に対する基本的ケアの充実と多職種連携による身体拘束解除の実践報告

池田 奈央（医療法人社団協友会 横浜鶴見リハビリテーション病院 看護部）

P35-3 BPSDの可視化による個別的ケア方針の構築 ～DBD13を用いて評価・介入を行った一症例～

安藤 歩美（社会医療法人敬和会 大分リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P35-4 ゲルストマン徴候を含み失語や失行で発症した脳出血患者の回復期病棟でのリハビリテーション治療経過

塩田 薫子（せいわ会 ならまちリハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P35-5 視覚遮断を用いた体性感覚アプローチが半側空間無視に与える影響

中村 凌（医療法人社団東京せいわ会 おくさわ脳卒中リハビリテーション病院）

P35-6 回復期リハビリテーション病棟における認知機能が低下した患者に対する集団リハの取り組み

横山 朋恵（医療法人社団幸隆会 多摩丘陵リハビリテーション病院
リハビリテーション技術部 作業療法科）

P35-7 身体拘束患者におけるCBAの有用性と関連性について ～身体拘束解除への取り組み～

久保 静（医療法人財団医道会 十条武田リハビリテーション病院）

装具・ロボット・リハ機器3

座長：永岡 直充（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

P36-1 当院外来の装具フォローアップの現状について

林 壮一郎（医療法人社団朋和会 西広島リハビリテーション病院 リハビリ部）

P36-2 回復期リハビリテーション病棟における重度脳卒中者の装具カットダウン時期の検討

加藤 龍（一般財団法人多摩緑成会 緑成会病院 リハビリテーション部）

P36-3 生活期における装具再製作の実態－当院の通所・訪問リハビリテーション利用者におけるケースシリーズ－

吉田さつき（医療法人社団苑田会 竹の塚脳神経リハビリテーション病院
リハビリテーション部）

P36-4 リハビリスタッフと看護師の協働によるデジリハを活用した病棟訓練の取り組み

告野 卓馬（医療法人社団慶晃会 南山リハビリテーション病院）

P36-5 Welwalk 開始時期による歩行能力および装具作製に及ぼす影響

慶越 梨乃（医療法人みらい みらいリハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P36-6 HAL腰タイプの使用によるリハビリスタッフの腰痛軽減に対する効果検証

水梨 史也（地域医療振興協会 あま市民病院 リハビリテーション室）

P36-7 回復期失語症患者における言語支援アプリケーションの探索的導入報告

勝野 由大（名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院 リハビリテーション技術科／
名古屋市立大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学講座）

ポスター演題37

上肢へのアプローチ2、装具・ロボット・リハ機器4

座長：佐藤 一秀（川崎医科大学附属病院）

P37-1 脳卒中後片麻痺患者の上肢に対する反復経頭蓋磁気刺激療法と短期集中入院リハビリの併用－歩行能力改善を認めた症例－

小林 侑平（会医療法人平成醫塾 苫小牧東病院 リハビリテーション部）

P37-2 没入型VRを併用した上肢リハビリテーションにより更衣動作が改善した左片麻痺患者の一例報告

國眼 健（医療法人篤友会 関西リハビリテーション病院）

P37-3 AI一筋電応答型手指リハビリテーションロボット介入により上肢機能が改善し、書字・箸操作の再獲得につながった一事例

宇佐美こずえ（IMS グループ 三愛会 埼玉みさと総合リハビリテーション病院
リハビリテーション部）

P37-4 脳卒中患者に対してBMI機器を使用したリハビリテーションを行ったことにより手指機能の改善を認め麻痺側上肢の使用頻度向上に繋がった症例

松尾 祐希（医療法人五星会 新横浜リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P37-5 ボツリヌス治療の開始が遅れた脳卒中後痙縮の1例

小林 美玖（医療法人同愛会 サンテ溝上病院 リハビリテーション科）

P37-6 KiNvisを用いて脳卒中患者のMAL向上に至った事例

西尾 綾佑（愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 リハ技術部 作業療法科）

P37-7 麻痺手使用に低い関心を示した症例に対する早出・遅出勤務を活用した生活場面介入の一例－症例報告－

町尻 拓真（医療法人財団慈強会 松山リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

ポスター演題38

2月7日(土) 13:10～14:00

スタッフ教育・人材育成・働き方改革3

座長：坂野ゆかり（西広島リハビリテーション病院）

P38-1 看護ケア提供体制の見直しによる退院支援自己評価の変化－回復期病棟リハビリ病棟の経験が少ない看護師を中心に－

野田健一郎（いちき串木野市医師会立脳神経外科センター）

P38-2 当科におけるエンゲージメント調査－「キャリア安全性」と「心理的安全性」に着目して－

熊王 寛人（組合立諏訪中央病院 リハビリテーション科）

P38-3 当院の障害者雇用枠における理学療法士の就労実践報告

稲葉 真己（医療法人社団巨樹の会 江東リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

P38-4 OJTで育つ力～療法士の教育におけるティーチング、コーチング活用の成果～

金原 大祐（医療法人財団善常会 善常会リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P38-5 当院における新人介護福祉士教育の取り組みと課題

平田 翼（社会医療法人近森会 近森リハビリテーション病院）

P38-6 当院の人財（人材）育成の再考～リハビリキャリアラダー教育を見直して～

酒井 雄太（医療法人仁医会 あいちリハビリテーション病院 リハケア部 こもれば課）

P38-7 回復期リハビリテーション病棟退院後の患者を“知る”ための取り組み－退院後訪問と脳卒中フォローアップ－

乾 康浩（地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション科）

ポスター演題39

2月7日(土) 14:10～15:00

スタッフ教育・人材育成・働き方改革4

座長：門脇 康浩（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

P39-1 クリニカルラダー到達段階別にみた療法士の実践能力の可視化について

後藤 凌介（東京湾岸リハビリテーション病院）

- P39-2** 回復期リハビリテーションにおける新人療法士教育への3Dプリンターモデル導入
橋本 拓也（五反田リハビリテーション病院）
- P39-3** 回復期リハビリテーション病棟に従事する作業療法士が面接評価や目標設定に抱く苦
手意識－SCATを用いた質的研究－
西岡 貴人（医療法人財団慈強会 松山リハビリテーション病院）
- P39-4** 回復期リハビリテーション病棟における看護師のやりがいと専門性認識に関する取り
組み
山田 祐子（奈良県病院機構 奈良県総合リハビリテーションセンター）
- P39-5** 新卒言語聴覚士の就職決定要因に関する調査報告
上野 達彦（医療法人社団巨樹の会 江東リハビリテーション病院）
- P39-6** 回復期リハビリテーション病棟・外来理学療法士のリハビリテーション機器の活用
に対する自己評価 ～年度を跨いだ特徴と有効な取り組みの検討～
六角 郁乃（医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院 回復期支援部）
- P39-7** キャリア研修がリハビリテーション専門職に与える影響について－ARCSを使用した
アンケート調査より－
西村 瞬（医療法人双葉会 江井島病院 リハビリテーション科）

ポスター演題40

2月7日(土) 9:00～9:50

歩行・移動3

座長：高田 尚文（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

- P40-1** 当院の大腿骨近位部骨折術後患者における位相角を用いた歩行予後予測の検討
鈴木 悠平（一般社団法人巨樹の会 千葉みなとりリハビリテーション病院
リハビリテーション科）
- P40-2** 意識障害が強く介助量が多い重度片麻痺患者に対し免荷式歩行リフト (POPO) を使用
しアプローチした症例
荒木 督隆（医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院 リハビリテーションセンター）
- P40-3** 体重免荷式トレッドミル歩行課題 (BWSTT) により両下肢切断者の歩行速度向上およ
び歩行獲得に至った一症例
原 尚平（医療法人社団巨樹の会 江東リハビリテーション病院 リハビリテーション科）
- P40-4** 脛骨近位端骨折術後に対するBody Weight Supported Treadmill Trainingの効果
検証
尾前 詩葉（公益社団法人地域医療振興協会 あま市民病院 リハビリテーション科）
- P40-5** 頸椎椎間板ヘルニアによる脊髄症後の感覚性運動失調に対して弾性緊縛帯を用いた固
有感覚入力がある有効であった一症例
阿部 遥夏（医療法人五星会 新横浜リハビリテーション病院 リハビリテーション部）
- P40-6** 歩行自立率の向上を目的とした介入の効果－回復期リハビリテーション病棟での検討－
野口 峻平（医療法人清和会 平成とうや病院 リハビリテーション部）

P40-7 長下肢装具を活用した段階的介入により非麻痺側優位の歩行パターンが改善し独歩獲得に至った一例

羽住 麻衣（一般社団法人巨樹の会 新宇都宮リハビリテーション病院
リハビリテーション課）

ポスター演題41

2月7日(土) 10:00～10:50

歩行・移動4

座長：森本 宙（株式会社ライオンハート）

P41-1 目標設定と練習環境設定がT字杖歩行自立に繋がった左被殻出血症例について

藤原 一雄（医療法人徳洲会 六地藏総合病院 リハビリテーション科）

P41-2 当院における高齢大腿骨近位部骨折術後患者の術後60日以内の歩行自立に関連する因子の抽出とカットオフ値の検討

井手 大輔（一般社団法人巨樹の会 千葉みなとりリハビリテーション病院
リハビリテーション科）

P41-3 歩行障害を呈した脳血管性パーキンソニズムに対する多面的かつ段階的リハビリテーション介入の一例

坂本 雅弥（医療法人せいふう会 川西リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

P41-4 ペダリングトレーニングに機能的電気刺激を併用した理学療法プログラムが歩行能力に及ぼす影響

世良 七虹（医療法人社団東京せいわ会 おくさわ脳卒中リハビリテーション病院
リハビリテーション部）

P41-5 COVID-19罹患後のギラン・バレー症候群に対し回復期リハを行い、早期復職を果たした症例

山下 昌伸（国立病院機構 東京病院 リハビリテーション科）

P41-6 回復期リハ病棟における初発視神経脊髄炎患者の退院時歩行自立を予測する因子の検討

平石 龍（地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立リハビリテーション病院
リハビリテーション技術科）

P41-7 当院における屋外歩行練習開始基準に基づく実施可否による身体機能の比較～屋外歩行練習開始基準の有効性検討

長嶋 宏弥（医療法人社団有相会 最成病院 リハビリテーション科）

ポスター演題42

2月7日(土) 11:00～11:50

医療安全・医学的管理3

座長：三宮 克彦（熊本機能病院）

P42-1 高次脳機能障害と視野欠損を有する患者の転倒防止対策の事例報告

村上 孝子（脳神経センター大田記念病院）

P42-2 回復期リハ病棟入院時におけるAI転倒予測モデルを用いた早期転倒予防への展望

國廣 祐助（社会医療法人北斗 十勝リハビリテーションセンター リハビリテーション部
理学療法科）

P42-3 当院の移動自立評価表と、移動自立に変更後の転倒に関する調査

西本 豊（福山リハビリテーション病院）

P42-4 回復期リハビリテーション病棟における離床センサー使用・解除の実態調査からみえた転倒回避を背景とした心理的葛藤

宇高 知里（医療法人千寿会 道後温泉病院 看護部）

P42-5 骨折リエゾンサービス対象者に向けた自主練習指導の試みについて ～その有効性の検証と120日時点での追跡調査について～

永松 一徳（社会医療法人財団池友会 新行橋病院 医療技術部・リハビリテーション科）

P42-6 当院回復期リハビリテーション病棟における転倒事故により対側大腿骨転子部骨折を生じた1例

杉本 耕一（鎌ヶ谷総合病院 リハビリテーション科）

P42-7 転倒対策機器の段階的解除への取り組み

小川 章先（医療法人恒仁会 近江温泉病院 総合リハビリテーションセンター）

ポスター演題43

2月7日(土) 13:10～14:00

チームアプローチ4

座長：神坂 綾（社会福祉法人こうほうえん 錦海リハビリテーション病院）

P43-1 「できるADL」と「しているADL」の差を埋めるための取り組み

下河内健太（医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院 リハビリテーション部）

P43-2 チームアプローチが奏功したワレンベルグ症候群の一例

新田 茉奈（社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 リハビリテーション部・言語聴覚課）

P43-3 回復期リハビリテーション病棟における情報共有 ～ADL掲示について～

内田 智（医療法人徳洲会 出雲徳洲会病院 リハビリテーション科）

P43-4 他職種連携をより密にするための取り組み -患者様のFIMに着目した新しい取り組み-

塩川 陽介（医療法人社団ふけ会 富家千葉病院）

P43-5 回復期リハ病棟におけるリハスタッフと病棟スタッフにおける多職種協働意識の比較 -AITCS-II-Jを用いた検討-

木山 喜史（医療法人尚豊会 みたき総合病院 リハビリテーション部）

P43-6 当院回復期病棟における身体拘束最小化に向けた取り組み前後での比較

川嶋 浩己（石心会 埼玉石心会病院 医療技術部 リハビリテーション課）

P43-7 主目標の実現に向けたチーム連携を目指して-テキストマイニングによる主目標の調査-

大澤智恵子（社会医療法人河北医療財団 河北リハビリテーション病院
リハビリテーション部）

チームアプローチ5

座長：田中 卓（養和病院）

- P44-1** 回復期リハビリテーション病棟におけるカンファレンスで掲げる目標のテキストマイニング分析 ～短期目標における職種間の視点の相違とクラスター構造の検討～
古西 幸夫（医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院 回復期支援部）
- P44-2** セラピストと協働して看護師が行う病棟リハビリテーションプログラムの作成と実施
荒木 優子（地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター）
- P44-3** 生活行為聞き取りシートを用いてチームアプローチを行い自宅退院に至った症例
佐藤はるな（袖ヶ浦さつき台病院 リハビリテーション部 回復期リハ課）
- P44-4** 回復期病棟での身体拘束最小化の取組みによる転倒転落件数減少への効果
山本 沙織（宝塚リハビリテーション病院 療法部）
- P44-5** 多職種連携と家族支援により概日リズムが改善し自宅退院に至った症例
太田 燿（医療法人 脳神経リハビリ北大路病院 リハビリテーション科）
- P44-6** 昼夜更衣を繰り返す症例への生活支援と退院調整 - OTを中心とした多職種連携の一例 -
加藤 千尋（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）
- P44-7** 当院回復期病棟における多職種連携の意識調査について ～多職種協働の質向上を目指して～
澤本 陽平（社会医療法人河北医療財団 河北リハビリテーション病院）